臺灣日日新報

本日八頁

編輯兼發行人 前野[illegible]若

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙定價 一部五錢・一ケ月金壹圓參拾五錢・[illegible]

廣告料 [illegible]

振替口座 臺灣一〇番 [illegible]

電話 代表番號 二八〇〇・二八〇四・二八〇五 [illegible]

五百萬人の合唱

―壯觀無比！各流宗家擧つて推挽極讃―

補益すると深大（本文略） 觀世流宗家 觀世左近

必須な基礎知識（本文略） 寶生流宗家 寶生重英

謡曲上達の近道（本文略） 喜多流宗家 喜多六平太

我々職分の者にも（本文略） 下掛寶生流宗家 寶生新

一般愛謡家にも學者にも（本文略） 金春流宗家代理 櫻間金太郎

出版さるる事の遲かりしを憾む（本文略） 金剛流宗家 金剛右京

謡能の正風を傳ふ（本文略） 梅若万三郎

【本文は内容見本について見られたし】

【謡曲師範の方々に】……御自分の教導さるる現代の弟子が、本全集を讀まるる事によつて、如何に素晴らしいものであるかを再認さるると共に、謡曲の意味を理解せずして謡ふことの如何にナンセンスで且つ恐るべきであるかを發見さるるでありませう。門弟の方々にも極力すゝめられ「謡曲よみの謡曲知らず」などと云ふそしりを此の好機をつかんで拂拭しようではありませんか。

【愛謡家・愛能家に】……本全集が座右にあつてこそ始めて能も正鵠に鑑賞でき、謡ひどころも謡ひ方もピンと胸にこたへます。謡曲上達の近道なのです。本全集を座右になくして徒らに觀能したり謡曲したりするやうな無茶な眞似はかりそめにもしないように致しませう。

謡曲日本の夜明けは近づいた

大評判 第十五版賣切 第廿版出來！

[illegible]を導ふ 第一卷實物 全國有名書店にあり

内容見本全國有名書店にあり 御申込次第 發送

解註 謡曲全集 全六卷

野上豐一郎著・各冊二円 一時拂拾円・豪麗版

謡曲界に於てその見識を謳はるるさる師範が門弟に與へるの書

拜啓初夏の候貴家には益々御健勝[illegible] 陳者御承知の如く現在に於ける謡曲の隆盛は未曾有の事に屬し候 既に謡本の流布によつても[illegible] [illegible]

あゝ、その歌聲の何と健康に明朗に强國日本の未來を約束することよ！本全集は是に命を叩き込む唯一の寶庫である。

各流宗家からの推挽も未曾有の感激事ながら此興趣滿帆・權威最高・親切精到の全集・第一卷出來を前にして、全日本國文學界は嵐の如く沸騰しつゝある！古典復興の大旆は今ぞ眞實にはためいゐるのである。いないな眞に日本を愛する人にも、明朗端美優婉な教養に憬るる人にも、塵界に悠悠勝利を獲得せんとする人にも、本全集はなくてかなはぬものとなつた。

小賣書店の福の神

謡曲ファンで分りのいゝ御得意様は必ず申込んで下さるし、而も暮しが裕しであるからキチンと拂つてくれるし、第二卷はまだかとせきつかれる有様、それにこんな立派な本を扱ふことも多ければ多いほど店の信用もますといふわけで、このところ小賣書店では信用と儲けとを一擧に得る一石二鳥の全集として大評判である。

＝申込方法至極簡單＝

頒布方法 豫約申込者のみに頒つ

配本期間 昭和十年五月より毎月一冊宛刊行し、同年十月を以て全六卷完結。

會費及送料 毎月拂二圓（送本料〇・一四） 一時拂十圓（送本料〇・八四）

申込方法 申込ノ切紹日までに第一回分の會費二圓に豫約申込金五十錢（是は最終會費に繰入）を添へて本社乃至最寄の書店に御申込下さい。全額一時拂の御方には申込金不要。

締切日 昭和十年六月廿五日

「論語讀みの論語知らず」の謗を本全集によつてキレイに拂拭致しませう

中央公論社版 東京驛前・丸ビル 振替・東京三四

農村に、漁村に、工場に、會社に、學園に、――

大前進を開始せよ!!

（最近の著者鶴見氏）

破天荒の廉價 四六判三百二十六頁 五十錢!!

日本は極東に於ける大民族であり乍ら、過去三千年の間、未だ一度も世界的實力の中心となつた事がない。然るに歐洲大戰以來、世界の中心は急速に太平洋に移動し、滿洲事變以來、更に一層の加速度を以て、西部太平洋に集中して來た。今や我等は、初めて世界民族の首位を爭ひ、世界文化の主流たらんとしてゐる。燦爛たる文化の大殿堂、今や我等の眼前にあり 然らば如何にしてその大殿堂を築くべきか？ 前進！ 前進あるのみ。農漁村に、工場に會社に、學園に、今こそ大前進を開始せよ。一國の大躍進と同時に一個人の大躍進すべき千載一遇の好機、今眼前にあるのだ。

貴下の心の奥に英雄が住んでゐる その英雄を掘り出せ！

議政壇上に獅子吼する政治家や、三軍を叱咤する軍人ばかりが英雄だと思ふのは間違ひだ。誰の心にも神と獸が住んでゐる樣に、英雄と小人が住んでゐる その小人を追ひ出して英雄を飛躍させた人が英雄なのだ。即ち英雄は、農村漁村にも工場にも會社にも學園にも居るのだ。要は、その英雄を掘り出すか眠るまゝに眠らしむるかにある。無爲退嬰の生活を排し、膨脹前進の生活に希望と光明の一大啓示を與ふる快著「膨脹の日本」を見逃す勿れ！

膨脹の日本

新英雄論

さきに「英雄待望論」の一書を世に送りて以來八年、凝つと世界の動きに耳を澄ましてゐた著者が、世界の大轉向を前にし、再び起つて九千萬同胞に投ぐる大獅子吼、即ちこの「膨脹の日本・新英雄論」である。著者、日本の膨脹せざるべからざる理由をその冒頭に說き、且つ三千年の世界史を展開してその興亡の跡を訪ね、次で日本の世界に對する大使命を論じ、而して最も偉大なる足跡を殘したる史上の膨脹民族の發展の消長と、偉大英傑の過去を敍し、古今東西の英雄偉人を描いて更に明日の英雄は斯くあるべしと論及し、われ等の前途に燦然たる一大光明を提供した。本書を讀めば、世界の大勢に通じ、日本の將來を知り、我等如何に生くべき？の全所要論を把握する事が出來る。而も流麗の筆、熱血の文、一讀して魂の奥底から、感激と感動を覺えずには居られぬ。眞に空前の大快著である。

自分はこれでよいのか、こんな生活を續けてゐてよいのか？ 誰でも然う思ふ時がある その時こそ心内の英雄が眼覺めた時なのだ その英雄魂を摑み出せ！ 伸ばせ！ それが、飛躍だ、向上だ、榮達だ、

この本を讀んだ瞬間に勇氣が身内に疼いて來る。夜明けが來た樣に嬉しくなる 三度の飯がうまくなる 仕事、仕事、仕事がしたくなる。

鶴見祐輔氏大快著

一册五十錢（送料八錢） 各地書店にあり

東京小石川 大日本雄辯會講談社刊行 ―振替口座番號・東京三九三〇―

第四十六回決算報告

昭和十年三月三十一日現在 貸借對照表

借方（資產之部） [illegible]

昭和十年五月

鹽水港製糖株式會社

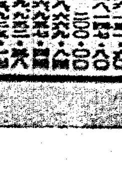
ア

ワカッタ

グリコ

デ

セウ



臺北市街圖

定價五十錢 送料四錢

發行所 臺灣日日新報社

大阪商船出帆

◉基隆出帆（[illegible]）

門司神戸行 高千穗丸 [illegible] 蓬萊丸 [illegible] 扶桑丸 [illegible]

福州上海行 長沙丸 [illegible] 盛京丸 [illegible]

廈門・汕頭・香港行 廣東丸 [illegible] 鳳山丸 [illegible]

福州廈門行 大球丸 [illegible]

大連天津行 △中華丸 [illegible]

鹿兒島・長崎・博多・北部行 江蘇丸 [illegible]

沖繩行 湖南丸 [illegible] 湖北丸 [illegible]

蘇澳・花蓮港・新港・臺東行 めなど丸 [illegible] でりい丸 [illegible]

比律賓行 しかご丸 [illegible]

南洋行 ぱなま丸 [illegible]

◉湖南丸修繕ノ爲一航海缺航代船恒春丸就航

◉高雄出帆

馬公行 壹岐丸 [illegible]

廈門、汕頭、香港、廣東行 福建丸 [illegible]

東京直行 △嵩山丸 [illegible] しどにい丸 [illegible]

其他船便多數アリ 臺北電三八五〇

近海郵船基隆出帆

門司神戸行 吉野丸 六月五日 [illegible] 大和丸 六月十日 [illegible] 朝日丸 六月十五日 [illegible]

大連仁川行 岩手丸 六月十七日 [illegible]

辰馬汽船

内地行 桐葉丸 六月六日基隆發 宮殿丸 六月八日基隆發

大連汽船基隆出帆

大連直行 山東丸 六月五日 [illegible] 山西丸 六月十五日 [illegible]

代理店 丸一組 [illegible]

蔣の回訓を待たず要求全部承認か

支那一流のかけ引きをやめて

汪精衛漸く決意

（天津二日發電通）確聞するに汪精衛氏は何應欽の報告に基く我方の要求を全部承認する旨回答して來た、然るに蔣介石氏からは未だ何等の回訓なしと言つてゐるが右は蔣介石氏の排日意識を如實に語るものとして注目の要ありとされてゐる

事態は再び緊張

何應欽が手心を加へて

回訓を仰いだ事が判る

【北平二日發電通】三十日朝何應欽から汪精衛に發した電報に依り決[illegible]に對し一日汪精衛より來電の回訓があつたが、右は何應欽が[illegible]め手心を加へて電請せるもので、これに依るもその內容は到底我方を滿足せしむるに足らぬものと見られ、事態は再び緊張の度を加へんとして來た

現地で善處

國府の方針

【南京一日發電通】國民政府は一日朝來汪精衛氏以下首腦部參集して緊急會議を開き北支問題に對する對策を協議したが、問題の[illegible]を之以上擴大せしめず圓滿解決を圖る方針に意見一致してゐるので、その詳細を何應欽氏に急電し現地において解決せしむるに決定した

于は斷乎罷免

張學良、宋子文を賴みとして

于は辭任勸告を拒絶

【南京一日發電通】國民政府は一日午後臨時緊急中央政治會議を開き、北支問題善後策を協議の結果取敢ず河北省政府主席于學忠を斷乎罷免することに決定し一兩日中に發令することとなつた

【天津一日發電通】于學忠は何應欽氏ら因果を含められたに對し余個人としてはどうでもよいが東北軍全般に影響するので學良とも協議の結果でなければ回答出來ぬと回答を避け今明日中に北平漢口に急行する筈、然し于の失脚は時の問題で後任は商震氏の呼聲が高くなつて來た

【北平一日發電通】于學忠が何應欽より河北省主席辭任を勸告され拒絶せるは學良と宋子文合作の根強き政治的背景を賴みとして北支問題を機會に汪精衛、黃郛一派を苦境に陷れんとする意圖の如くであり、我軍當局はこの點を嚴重に監視してゐる

十日前後に漢口で巨頭會議

右か左か假面をぬいで

對日策の確立を期す

【漢口一日發聯合】共匪討伐中の蔣介石氏は目下成都に在り、北支問題に關し南京政府當局から逐一報告に接してゐるが單に北支時局對策のみならず今回の事件に依り日支外交の全面的再檢討の必要に迫られるに至つた爲め、六月十日前後愈々漢口に閻錫山、汪精衛、黃郛、張學良、何應欽氏等の巨頭を招致し一大會議を開催する事となつた、而して蔣介石氏は成都に於て既に腹案を練つてゐると察されるが來るべき漢口會議においては右するか左するか國民政府の對日外交工作が確立闡明されるものと觀られて居る

漠然たる回訓

具體的指示を缺く

【上海一日發電通】確聞するに重慶に在る蔣介石氏は三十一日夜國民政府當局に對し北支に關する事態は于學忠の責任なる報告を聽取の上力めて圓滿解決を圖るべしとの回訓を與へ問題の核心たる我が軍の要求に對する具體的訓令はなし來らぬので國民政府當局はその後の[illegible]に就き協議すると共に具體的事項に關する再度の請訓をなした

蔣團長が黃氏を訪問

【東京一日發本社特電】[illegible]

平津市黨部指導員總辭職

中央の弱腰に憤慨し

【天津一日發聯合】天津市黨部指導員は我方の强硬態度に驚き重要書類を携へ二十一日北平へ逃亡し北平市黨部員と善後策を協議中であつたが一日諸般[illegible]を決議し中央黨部に對し責任者を[illegible]方を承認した、右は中央の弱腰に憤慨した爲と云はれ天津市黨部は目下ガタ〃その狀態である

黃氏の後任は王克敏氏

【北平一日發本社特電】黃郛氏の中央部內政部長就任と共に[illegible]であつた北平政務委員長の後任に就ては種々銓衡中のところ此程[illegible]委員長王克敏氏を任命する[illegible]た、而して王氏の就任と共に北支に於ける日支關係は如何なる變化を來すか各方面では極めて重要視してゐる

富士山頂に飜る海軍旗

（去る二十七日の海軍記念日に當り、富嶽の頂上に[illegible]寫眞は海軍旗の掲揚式）

有吉大使に外相が訓令

日支關係打開につき

【東京二日發】廣田外相は駐支公使館の昇格斷行に伴ひ今後の支那の對日態度の措置に重大な責任を痛感するに至つたので、有吉大使赴任後の日支關係の打開に極めて細心の注意を拂ひ目下側面に於て[illegible]の調製を急ぎつつあり、三日有吉大使の登廳を求め最後的打合せを行ふ豫定である、而して廣田外相としては日支提携を强化する第一次工作なる

一、排日取締りの徹底
一、消極的障害の排除
一、[illegible]整理
一、無線電話及び航空連絡
一、特殊貨物の輸入促進

に就き支那側が誠意ある解決を圖るにおいては更に第二段工作として日本側より積極的に日支經濟提携を圖らんとする決意を固めてゐるので有吉大使赴任後に示さるべき支那側の態度は日支關係の將來を卜するものとして注目されてゐる

北支問題の解決出先軍部に一任

外陸兩當局の意見一致

【東京二日發】北支問題の解決は外務、陸軍兩當局協議の結果、出先軍部の措置に一任する事に決定したので今後は北支駐屯軍、關東軍當局に於て支那側責任者に依る排日機關の解消、[illegible]の根絶、反日行爲の絶滅、[illegible]なる要件等について嚴重なる[illegible]を續け萬一支那側に於て誠意ある解決手段を講ぜざるに於ては斷乎たる解決手段を自主的に行ふ意向で我が當局は今後の支那側の態度に深甚の注意を拂つて居る

陸軍の態度依然强硬

【東京二日發】陸軍では北支の事態に對し國民政府が依然一面抵抗一面交渉の技巧的親日態度を改めぬ限り起つた事件に付き外務省を[illegible]し軍部の强硬態度を[illegible]しめんとするが如き姑息なる手段を續け[illegible]するにおいては事態は益々重大化し軍は獨自の見解に基き行動するであらうとの强硬態度を持してゐる

佛新內閣もまた財政獨裁權要求か

四日初閣議を開いて決定

【パリ一日發聯合】ブイソン佛內閣は四日初閣議を開き新政府の施政方針を決定する事となつたが新內閣はフランダン前內閣と同樣議會に對し財政獨裁權の要求をする筈で同日下院に右要求を提出するものと觀られる

政友攪亂の譏りを回避

內調參與銓衡に

政府苦心の跡

【東京二日發】內閣調查局參與銓衡は漸く一段落し三日正式發令を見ることとなつたが政府も銓衡[illegible]官人選の[illegible]に交渉を進め相當の曲折を經て[illegible]の人選を終つた、[illegible]は吉田長官の手腕に[illegible]色ある人物を集めて[illegible]加へ[illegible]政友會代表を[illegible]めなかつたのは調查局の[illegible]政友會[illegible]の譏りを回避したためであるがこの方針を決するまでには閣內にも相當議論のあつた所である、[illegible]大阪側が內閣[illegible]

安部、村田兩氏參與就任を謝絕す

【東京二日發】內閣調查局參與の交渉を受けた安部磯雄氏は社會大衆黨內の事情に依り、又村田省藏氏は大阪商船內の事情に依り受諾困難となり二日吉田長官宛右事情を具陳して謝絕の通牒をなすことになつてゐるが、これに對し政府は他に適任者を求め難き點を述べて再考を求める筈である、尙兩氏が飽くまで固辭する場合は二日中にこれに代るべき人物を物色し三日發令の豫定である

「滿蒙親善の鍵」滿洲里會議開幕

三日、ハルハ事件の本交渉に入る

【滿洲里一日發電通】滿蒙第一回外交會議は一日午後二時より北滿鐵路中學校において開催された、席上には兩國旗が[illegible]として平和の瑞兆を表象、兩國代表は嚴肅裡に來會、闘間の會議卓に着席して互ひに握手を交し先づ滿洲國首席代表[illegible]氏は今回の會議においては我兩國間の諸問題を友好的に處理し平和親善の國交の基礎を造るの熱烈なる希望を有して居り交渉の成果を擧るに努力したいと考へると挨拶をなし、次で外蒙代表サンボー氏も事件の平和解決を希望すると共に將來の親善を欲する旨の挨拶を述べ、三鞭酒をあげて記念撮影をなした、午後二時十分會議を終へ翌日午後一時より開會し愈々ハルハ事件の本交渉に入ることとなつた

民政黨は悠々高見の見物

同黨幹部の政局觀

【東京二日發】民政黨は政界の中心勢力として最も有利な立場にあるが幹部の觀るところに依れば政友會の總裁派出し運動は何處迄發展するか豫斷を許さぬとは云へ、何れにせよ內部の動搖は愈々深刻となるであらう、之に絡まり新黨運動は[illegible]に發展するか或は來年の總選擧後に持越されるか、今のところ確たる見透しはつかぬが、この方の足踏の現狀にあるのは要するに床次氏が政友に復歸して總裁たらんとする樣な內意を抱いてゐることもその一原因であらう、從つて當分高見の見物でゐる外はないと云ふにある

N・R・Aも愈々一齊に總退却か

政府は係爭中の違反提訴撤回に決す

【ワシントン一日發聯合】ルーズヴェルト政府の一枚看板たるN・R・Aも大審院に於ける敗戰で致命的打擊を受けル大統領も最早法廷に訴へて强制力を行使する望みなしと決意し、カミングス司法長官の勸告に基づき產業復興法違反事件として目下法廷に於て係爭中のもの四百十一件其他を政府より自發的に提訴を撤回する旨一日各關係當局に命令した、右につきル大統領は一日左の如く聲明した

最早政府が法廷に於て爭ふ事は全く無意義であるとの結論に到達し余はこれ等の提訴は一切撤回するに決した

斯くてN・R・Aは一齊總退却の餘儀なきに至つた

廣田外相參內

日支問題等を奏上

【東京一日發】廣田外相は一日午後二時宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付られ日支問題その他最近の一般外交經過を奏上午後三時退下した

關稅引上の實施七月一日の豫定

國府外交部から須磨總領事に通告

【東京一日發本社特電】國府は六月一日より關稅引上げを實施すべく準備中で我が政府はその不當に對し[illegible]中であつたが三十一日外務省須磨南京總領事よりの報告によれば國府外交部は三十日夜に至り突然[illegible]に電話で關稅引上は色々の事情で延期することとなつたが今の所七月一日より實施の豫定である[illegible]

佛新內閣の親任式を擧行

【パリ一日發電通】ブイソン首相は一日午前十一時新閣僚を伴ひルブラン大統領に謁見親任式を擧行した

カイヨー氏が藏相に轉任

【パリ一日發聯合】佛新內閣の藏相に決定したパルマード氏は就任を拒絕したので無任所相カイヨー氏が藏相に轉任された

フラン貨の平價飽迄維持の決心

カイヨー新藏相が聲明

【パリ一日發聯合】佛內閣新藏相カイヨー氏は一日新政府の財政政策に關し左の如く聲明した

余は金の流出を防ぎフラン貨の平價を飽迄維持する決心である更にフラン貨に對する投機は斷乎取締り平價切下げ論者を嚴重取締する覺悟である

新藏相强調す平價切下絕對に反對

【パリ一日發電通】新藏相ジョセフ・カイヨー氏は一日大藏省の首腦官吏を召集し就任挨拶を行つたが席上左の如く强調した

余はフラン貨の平價切下に對しては如何なる方法に據らうとも絕對に反對して之を行はぬことを誓約する

關東州廳で民政署全廢

【大連一日發】關東州廳は十一月移轉と共に大連に移轉と同時に從來の民政署を全廢し旅順、大連、普蘭店、金州の四ヶ所に出張所を新設する事に決定した

特設第四艦隊首腦部發表さる

海軍大演習に伴ふ

【東京一日發】[illegible]

林陸相

二二八ハ著

【二二八ハ[illegible]發】[illegible]

樞密院本會議

【東京二日發電通】樞密院では五日午前十時より定例本會議を開き
一、日本國、オランダ國間司法的事件裁判、調停條約御批准の件
一、樺太廳官制中改正の件
を上程議了可決し[illegible]

フランスの駐支公使館

昇格正式決定

【[illegible]】[illegible]

シナチク

◇……◇始政四十周年を迎へる記念として祝賀の過去を語る此の間の本社主催の座談會は、午後二時から始まつて午後十時四十分まで續き其の間晩餐を共にしながら[illegible]方の秘話と秘談とを語り續け、此の[illegible]座談會の新記錄を作つた▲何しろ水入らずの集りだけに各自記憶を辿つて思ふ儘を言ひ、幾多の秘められた話まで持ち出して爆笑相つぎ、昔の[illegible]を眼前に再現させ思ひ〃に過去の懷しい追憶にも耽つた▲殊に領臺後暫らくの間は婦女子の自由渡航が許されてゐなかつたので、生命を投げ出して臺灣で働いてゐた男性の眼の色も次第に變つたりしてゐたが、その後女子の自由渡航が許されボツ〳〵柔かい綠の姿が臺北城內などに現はれると、物珍らしさに內地女の後をゾロ〳〵附いて歩いたものださうだ▲更に何の野心もあるのではないが唯そノ〳〵らしさに慕ふ[illegible]まで現出した相だが、それで以て其の頃の[illegible]振りが偲ばれるであらう。

商業登記公告

●株式會社設立[illegible]株式會社[illegible]
[illegible]
臺北地方法院

人事

▲岡部昭男氏（花蓮港廳庶務課長）二日出北（花蓮港電話）
▲宮田武太郎氏（大阪商船專務）二日午後來花（花蓮港電話）
▲風間八左衛門氏（貴族院議員、臺灣合同電氣社長）[illegible]三日內地へ
▲中村昌氏（臺南州內務部長）二日來北（[illegible]）
▲高見秀夫氏（[illegible]辯護士）二日來北（[illegible]）
▲永井清次氏（日糖重役）總會に出席の爲三日高千穗丸にて上京
▲[illegible]和勝治郎氏　輕微な腦溢血にて[illegible]中

內海知事震災地視察

【新竹電話】內海知事は二日苗栗郡下の苗栗街、公館庄、銅鑼方面の震災地後始末狀況を視察し午後五時二十五分歸新した

蓬萊丸より

（來航）海上平穩快に南下中、幣原臺大總長、古山臺北地方法院檢察官長、西村督府山林課長、淸水專賣局煙草課長夫婦、近藤勸銀支店長、酒井[illegible]、平田組重役、平田フオード內地重役、[illegible]等外多數一同無事、三日午後一時基隆着の豫定（二日着無電）

內地瓦値上
[illegible]

大金庫
東京製
台灣總代理店
長谷川商元

內科 小兒科 呼吸器科
入院隨意
淺井醫院
臺北市東門町 電話[illegible]

內科 小兒科
台北市京町一ノ二十（[illegible]）
大磯醫院
電話三六四八番

小兒科
壽町一丁目三（[illegible]）
（入院隨意）
武藤醫院
電話一八五九番

耳鼻咽喉科
本町二丁目（博物館横）
（入院隨意）
藏田醫院
電話三三八七番

小兒科
榮町一丁目六
松山醫院
電話二五四〇番

產科 婦人科
入院室完備
台北市大和町四丁目壹番地・春日通り
福田醫院
電話一四九七番

內科
台北市京町二丁目 電話三九九八
（入院室完備）
秋山內科醫院
秋山爲大

耳鼻咽喉科
榮町一ノ八
天野醫院
電話二四〇一番

皮膚科 性病科
入院應需
台北市表町宝通り
三船丸醫院
電話一八五五番

小兒科
京町一丁目五二
（入院隨意）
關屋醫院
電話一六七二番

內科 皮膚科 性病科
台北市京町一ノ五二（[illegible]）電話四九八一
（入院隨意）
千本醫院
醫學博士 千本信次

外科
本町三丁目
（入院應需）
菅沼醫院
電話九五四番

一般外科 皮膚科 泌尿器科 X線科
本町一丁目
一番ヶ瀨醫院
電七八九番

外科 X線科
本町三宝通り（[illegible]商會向ひ）
（病室完成）
菅野醫院
電話五〇六番

產科 婦人科
京町三丁目宝通り
（入院隨意）
鶴田醫院
電話二二九七番

眼科
台北市表町二ノ八・電話三三四三番・鉄道ホテル正門前
（入院隨意）醫學博士 塚原義夫
塚原眼科醫院

親鸞聖人 （225）

吉川英治作
山村耕花畫

女人篇

手長猿（七）

四郎は自分が世に隠れなき大悪の張本人であることを以て誇りとしてゐるのである。然るに今夜の相手は、自分の邪悪ぶりに對して一向驚かないのみか、自分を目して、悪黨だといひ、正直者だといひ、親人だといふ。

これでは、天城の四郎たる者の沽券はない。彼は泥棒にされたよりも大きな侮辱を感じて、いちいち親鸞のことばに腹が立つた。ことさら白々しく自分を揶揄するものであると取つて、

『やかましいつ』

と最後には大喝を發して、頬にも、肩にも、腕にも、怒りの筋肉をもりあげ、全身を以て悪形の威厳を示した。

『おれを、賞めそやしたら、おれが喜ぶとでも思つてゐるのか。憎くみるな、そんな生やさしい人間とは人間の出來がちがふ。四の五はよいから、金を出せ」

『この無住にひとしい草庵に、貢金があらうわけはない』

『家探しするぞ』

『心すむまでするがよい』

『それ、探してこい』

手下共へ顎を振つて、四郎は再び親鸞を凝視した。

然し、親鸞の姿なり面からは何の表情もあらはれなかつた。四郎との一問一答がやむと、睫毛が半眼にふさぐだけのことだつた。散らかつて方丈へなだれ込んだ手下たちは、やがて戻つて來て、親鸞の室から一箇の厨子の扉と經机の手文とを見出して來ただけであつた。金はなかつたけれど、その厨子の扉は、四郎の欲心をかなり滿足させたらしい。

『寺には、かういふ代物があるからな』

と見惚れてゐた。そしてすぐ、

『引揚げよう。そこいらの物を、引っ擔いで先へ出ろ』

と命じた。

手下たちは、各々獲物を肩につけて本堂の外へ出た。四郎は、歩みかけた足を回し、最後の毒口をたたいた。

『親鸞、また來るぞ』

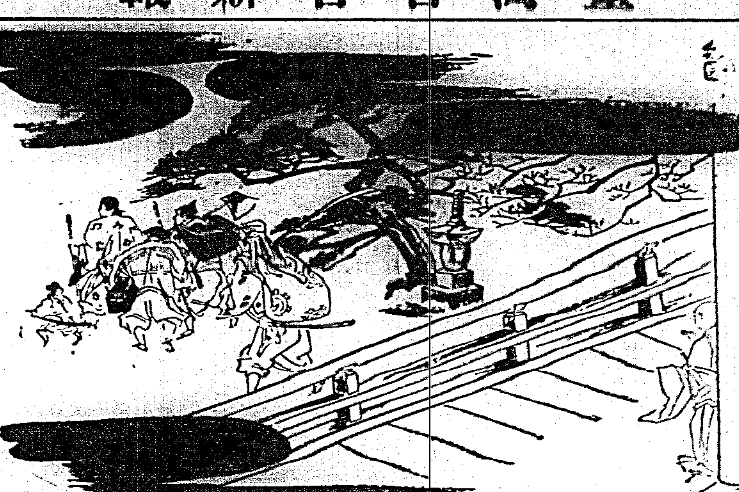
鷲のやうな鋭い彼の眸に對して親鸞の向けた眼ざしは春の水のやうに笑つてゐた。

『オオ、又來るがよい』

『エエん……憎みのつよい男だ。人もあらうに、俺のやうな人間に女犯の證據をにぎられたのが汝の災難、一生一生、つき纏つて金をせびるものと覺悟しておけよ』

『よかい御縁ぢや。いつかはこの縁から救ひ網に、法の種が咲くであらうぞ』

『まだ寢言を吐いてゐやがる。おれの悪を鍍金とぬかしたが、汝も悪めかしたその鍍金を、ぬぎ捨てて、凡下は凡下なりに世を送つたはうが、ずんと氣が樂だらうぜ。はははは、坊主に説破は過ぎただか、俺の親父は生きた人間へあらたかな極樂の近道なのだ。……どれ、だいぶ長い思ひをしたから、今夜は八條の館城に歸つて、その極樂の様に、伽陵頻迦の聲でも聞から。おさらば」



盗賊の習性として現場を退く時の身ごなしは眼にもとまらないほど敏捷であつた。縁側へ出たと思ふと、四郎の影も、手下共の影も、谷間を風に吹かれて落ちる枯葉のやうに、忽ち、その行方を掻き消してしまふ。

先刻から歯の根もあはずに縁の柱の蔭にすくんでゐた善有は、悪夢をみてゐるやうな眼でそれを見送つてゐた。

佛蘭西の政變と 注目さるゝ法貨政策

法切下を機に世界爲替市場の 第三次混亂招來懸念さる

【東京二日發本社特電】フランス新内閣の意向如何に拘らずフランの切下は結局不可避となり、その切下率についても現在我が爲替銀行筋では諸般の條件を綜合し結局は一割五分乃至二割五分見當としてゐるが、問題はフラン切下後に於けるフランの基礎が切下に從つて果して安定的狀態を續けるか否か、換言すればフランの金離脱によつて世界に完全なる金の基礎を持つ通貨なき際、國際通貨たる法、磅、弗の三者が如何に安定的バランスに置かれて行くかであり、若しフランの低落政策から來る國際通貨の再混亂を招來するが如きことあれば、此結果は從來國際市場に於て低爲替、あの好條件に惠まれて發展して來た我が輸出貿易上に及ぼす影響は避け得られないので財界一般には寧ろフランの切下そのものよりもその後に來るべき此の磅、弗、法三者間の國際通貨の動き如何に關し極めて神經的に注視を拂つてゐる、これに對し財界一部にはフランの切下から國際的に通貨安定協調の氣運を釀成し、國際通貨も安定的狀態に復し得るだらうと豫想するものもあるが、併し佛國の今次の法の危機は佛國經濟界の不況とドイツの軍備宣言に端を發したフランス軍事財政の大膨脹に基くものであり、此點を考慮すれば歐洲の危機に直面せるフランス當局が、法の低下政策と共に一方必死的に膨大なる軍需インフレ財政政策を採るは不可避ではないかと見られてゐる、從つてフランの基礎は軟勢となり此の點は一九三一年の金離脱以來フランに對し常に有利な位置を占めて來た磅の影響は及ばぬ所で英國の通貨政策も此の結果からフランの動向に對して飽迄に現下の政策を採られるものと豫想されるので、之等の諸因から或は國際爲替市場の將來は一時の安定點にも拘らず現實にはフランの切下を機徴としてフランスに煽動されつゝ第三次の混亂狀態に陷るのではないかと憂慮されてゐる

北鐵代償金當ての 外地產品と周知事項

拓務省殖產局長より總督府へ通知

北鐵買收代償金の支拂に充てらるる物品中に加ふべき外地產品取纏め方に就ては既報の如く基隆北商工會へ通牒があつたが、右に關し拓務省殖產局長北島謙次郎氏より總督府殖產局長中瀨拙夫氏宛の照會文面と十年三月二十五日外務省告示第七七號議定書の拔粹は次の通りである

北鐵買收代償金の支拂に充てらるる物品中に加ふべき外地產品に關する件

本年三月二十三日東京に於て滿蘇兩國代表間に正式調印を了したる北鐵讓渡滿蘇協定第七條に依り滿洲國政府より蘇聯邦政府に支拂はるべき代償金日本國通貨一億四千萬圓中九千三百三十萬圓の決濟は同協定第九條の規定に從ひ蘇聯邦政府に引渡さるる滿洲國又は日本に於て生產又は製造せられたる物品に對する滿洲國政府の支拂を以て行はるべく之が爲同協定實施の日より六ケ月以内に在日本國蘇聯邦通商代表部及日滿兩國當事者間に右物品の購入契約を締結すべきことと相成居り而て蘇聯邦購入物名は協定中に明記なきも從來蘇聯邦に於て米、茶、生糸、絹織物、綿織物、電氣機械器具、小型船舶、漁網、砂糖其他一般の食糧品等の購入希望ある趣なるも未だ決定し居らず尚右契約の締結に付ては蘇聯邦通商代表部と個々の當業者との自由取引のみに委することは不利を來す虞あるを以て政府としては之に對し或程度の積極的干與を爲し對蘇輸出統制機關を設定すべしとの聲もあるに鑑み右契約に於て蘇聯邦に賣込むべき物品中に外地產品をも加ふる樣取計方關係者に對し要求致候條貴管内產品にして賣付け希望品目に之が數量、價格等至急御取纏めの上何分の御回報相成度此段及照會候也

追而北鐵讓渡滿蘇協定、日蘇交換公文、日滿交換公文、日滿蘇議定書等は三月二十五日付官報により御承知相成度候也

昭和十年三月二十五日外務省告示第七七號議定書拔粹

△要旨—滿洲國政府は北鐵買收額日本通貨一億四千萬圓の中九千三百三十萬圓は物品を以て蘇聯政府に支拂ふべくこの物品に對する支拂は滿洲國政府に於て爲すべし

△契約當事者—物品賣買の契約當事者は駐日ソ聯通商代表部及滿洲國又は日本國居住者又は法人とす並に所謂法人とは滿洲國又は日本國の法令に從ひ設立せられたる又は設立せらるべき法人を云ふ

△物品自體に對する條件—滿洲國又は日本國に於て製造せられたる物品なること即ち外國より輸入せられたる原料及右兩國の何れかに於て生產せられたる原料を以て右兩國の何れかに於て生產せられたる物品なること

△物品價格に關する條件—物品賣買契約は通商代表部の選擇に依り運賃保險料込價格又は甲板渡價格にて締結せらるべく且つ物品に對する滿洲國政府の支拂に關し規定すべし

△物品引渡に對する條件—物品は賣買契約の條件に從ひ北鐵讓渡協定の日より三年の期間内に賣主は駐日ソ聯通商代表部に引渡すべし

△賣主の權利—賣主は物品の勘定の決濟を爲す爲通商代表部をして該物品の處分を爲すことを得しむる書類（船荷證券、倉庫證券等）を引渡すべし

△賣主の義務—物品購入に關する契約要綱書は契約の兩當事者に依り認證せらるべく物品の賣主は事情の許す限り物品に關し滿洲國又は日本國に在る商工會議所又は右兩國の何れか一方の政府が原產地證明書を發給するの權限を付與したる他の機關に依り發給せられたる原產地證明書を在日滿洲國公使館附財務官に提出すべし

賣主は物品支拂の爲に發行せられたる小切手を受領したる時は受領證を交付すべし

△支拂方法—財務官は通商代表部より契約の要綱書に揭げられたる物品の引渡が完了せる旨の通知を受領したる時は株式會社日本興業銀行を支拂人とし賣主を受取人とし且つ物品の代金を額面とする記名式小切手を發行し支拂期日に前記物品の原產地證明書の提出が契約の要綱書提出の時に行はれざりし時は右證明書と引換にて之を賣主に交付すべし

前渡の場合—物品の賣主に對する前渡は右前渡を爲すべき旨の通商代表部の通知ある場合代表部の要綱書に從ひ財務官に依り同樣の方法にて行はるべし

產組協會主催 農倉講習會

一日開講式擧行

臺灣產業組合協會主催の第二回農倉講習會開講式は八月一日午前八時から臺北市[illegible]に於て擧行した、講習會出席者は八十一名の多數により近來にない大講習會である、定刻會長代理山田殖產局長より開會の挨拶があり之に對し講習生一同を代表して臺南州[illegible]大和田義明氏が答辭を述ぶる所あり、引續き貝山講師の農倉の講義に移つた、此の講習會の盛況振りに依り一般が產業組合經營農業倉庫に如何に多くの希望を有つて居るかが窺はれ新農倉將來の發展の爲めに本講習會に多大の期待が寄せられて居る

東西南北

横濱博覧會の餘興を機會に同地で開かれた港灣協會總會、全國食品業大會に出席し序に横濱、神戶、吳、熊本の四博覧會を見て來た澤井博協贊會の餘興部長として そこには抜け目なく各地各様の餘興を充分に見學し餘興の參考資料としたさうだ▲各地の博覧會の成功は官民一致の努力によるが、餘興に金を惜まず大に新しいものを呼び趣味を凝らして人氣を集めたことが大なる力となつてゐる▲それに引替へ臺灣博の餘興は協贊會の總經費四十萬圓の内六萬餘圓の餘興方面へ割かれる分を除けば正味五萬餘圓に過ぎない、私は初め餘興費に十萬圓を要求したが容れられなかつた、之は甚だ遺憾とするところだ▲横濱博や神戶博で人氣を引いたバーヤーダイビング、ファイヤーダイビング、熊本博での人間大砲など一寸目先が變つてゐて面白かつた、金さへあればそれらを臺灣へ呼ぶことも出來る、私は横濱の外人興行師に渡りを付けては來たが、協贊會で豫算の增額が容れられたら契約書にサインするだけになつてゐると▲澤井樣子は例により名所舊蹟をおとづれることを忘れなかつた、今度は大島の三原山を探險し伊豆の伊東溫泉、下田の玉泉寺にある「唐人お吉」の墓にも行つて見た▲お吉が晩年下田の人々から見向きもされずに乞食となり自殺したのが明治二十三年で、既に映畫に好たレコードにお吉が有名となつたのは最近五、六年來の事だ、黒船以來の史實とお吉のはかなき運命に一掬の涙をそそいだか何うかは知らぬが、此の紀行文は例により近く一冊子に纏めて友人知己にご覧に入れるさうである。

十二坪の養魚池から 純益實に千五百圓

鯉の家畜化？に成功したる 日本一の養鯉王（内地群馬縣）

僅か十二坪の養魚池で養鯉を行ひ數字差引一千四百七十七圓の利益を得たと云ふ嘘の様な實話……この日本一の養鯉王は群馬縣佐波郡[illegible]町の田中友一氏だ、氏は放鯉する養鯉家でなく實に鯉の家畜化に成功した人で氏の經營する養鯉池は實によく觀測され、大氣みのチンチン鯉さへ奏すると云ふ、大養鯉池の設備くも規模の光彩をはつた程である、養魚池は面積が十二坪、水深五尺八寸、注水量の最大が一秒間に約十三石である、この池に一昨年十一月二十一日に約一萬尾（二百二十貫）放つて飼ひ收納尾數九千九百三十尾（二千六百四十二貫五百匁）によつてゐる、放魚當時一尾五寸前後の鯉は收納時一尾一尺二寸前後になり、體量で放養當時一尾二十一匁のものが收納當時には一百六十六匁一分強に成長するわけだ、この飼育期間は生蛹九百九十二貫、蛹麥一百六十四貫、ボーフラ一千十一貫、田螺五十二貫六百匁、野鯉九依、丸乾蛹四十六貫、動物若干で、飼育期間は四月下旬（水温六十度以下になつた時）から十一月三十日までである、生蛹一貫に二千四升で蛹麥一升は四百匁で、この增肉量一貫八百九十三匁弱、ボーフラ一升の增肉は二百匁、野鯉（小エビ樣のもの）一貫は七百匁程二貫について增肉量一百五十四匁、田螺一升について增肉量一百五十五匁、丸乾蛹十貫の增肉量は六百匁程度である、この養鯉の收支計算（九年八月十六日から十年二月廿二日迄）を見ると次の如くである

△收入之部
二八二,二五　小賣計　百匁十三錢の割（天貫八〇匁、九百尾）
二,五九六,〇〇　卸賣計　百匁十一錢（二千三百六十貫、九千九百尾）
二,八七八,二五　合計
賣上平均百匁十一錢二厘強

△支出之部
四四〇,〇〇　元鯉代金　百匁二十錢（二百二十貫）
九六,一二　生蛹代　九九二貫
一〇二,四〇　蛹麥代　三石八斗
三三六,五〇　ボーフラ代
二九,八〇　田螺代
二,六〇　丸乾蛹代
一〇,〇〇　諸雜費
八,〇〇　公租公課地代
一,四七〇,五六　合計
一,四〇七,六九　差引利益

養鶏界今日の問題

飼料を如何に扱ふべきか

業界の無統制を一掃せよ

【東京特信】内地卵價は遂に一箇六圓臺を割り、飼料は暴騰のまゝに下らず、全國養鶏家は多年斯界に於て斯業界の取れない現狀であるこの業界恐慌の對策を協議すべく全國養鶏組合大會が東京に於て開催さるべき氣運に各々濃厚に醸されつつあるが、養鶏組合中央會を訪へば、業界の根本的立直しに就き左の如き意見を發表した

養鶏業者における飼料の需要は年々增加の傾向があり、輸出額も增加一方で既に鶏界の發展は頂點を斷つた形であるが、これと同時に養鶏飼料高粱、玉蜀黍、大豆粕等の輸入は各々增加の傾向があり、全國的に業者の增加と共に益々憂ふべき狀態に進展しつつある

× ×

目下問題となつてゐるのは高價な飼料であり、この引下げを要求してゐるが、飼料の運賃引下げを當局者に要望して見ても、その要求は不可能と思はれるし、又多少引下げて貰つてそれに依つて鶏界の不安が除去されるといふ事は考へられない、要するに根元の問題のみに捕はれず根本的に立直しが必要である。即ち自給飼料の增殖である。この事態は大まかな投機的な氣持でなく、一錢一厘の細かい算盤を彈いて、果地を利用して少しでも自給飼料を造るとか、配給飼料に依つて少しでも輸入飼料を減らすやうにしなければならぬ

× ×

多養鶏の直段鶏卵を合資する方法もあるが[illegible]少くとも東京、大阪其他の都市に五萬箱—十萬箱位の專用倉庫がなければ全國養鶏業者に福音を齎すものではない

× ×

鶏卵加工品は先年窮苦相場により輸出可能の時に盛んに輸出され、この加工場は九州戶畑市にあり、一日百匹の製造力を持つてゐるから、若し卵價が五圓以下になれば本年度も輸出可能でその意味に於て九州の養鶏家だけでは[illegible]輸送することになろう。[illegible]

年々增加しつつあるが、一般需要者にはその價が高く、又生產者は老鶏廢鶏など極めて安値で取引される現狀である、先年鶏肉販賣會を東京に開いて好成績を擧げたが、かゝる機關を永久的に養鶏組合なり、府縣の組合會なりが大都市に持つて實行すれば生產者の利得なりと考へられ、更に新しい販路を開拓する意味にもなる。養鶏界の最大なる弱點は機關の無統制である。[illegible]

昭和九年中 基隆市の生產額

一千七百六十八萬圓

前年より百四十萬圓增加

【基隆電話】基隆市に於ける昭和九年中の生產額は一千七百六十八萬八十七圓にて前年に比し百四十萬圓餘の增加を來してゐるが右内譯を示せば左の如く鑛產（石炭）のみは減少してゐるが水產に於て二十二萬七千圓、工產に於て百四十二萬五千圓其他何れも增產を示してゐる

	昭和九年	昭和八年
農產	二一,八九四	八〇,九一四
林產	三五,二一五	三一,二一五
畜產	九五,二九五	九三,二九一
水產	四,〇三〇,九四〇	三,七九五,八二五
鑛產	一,八六七,三八六	二,〇〇二,八〇六
工產	一〇,八八〇,三三六	九,四五五,四六八
合計	一七,六八〇,〇八七	一六,二三三,三五四

一期蓬萊米の 移出契約百餘萬袋

期米と石五圓八十錢鞘

產地は案外賣つて來ない

一月發會の大阪期米八月限は本年の限月だけに上鞘を普通とするに拘らず十六丁

下鞘に 生れアト期近の引締りに漸次逆鞘幅大し發會止では當先五十一丁中先二十七丁となり持下げと蓬萊の壓迫を織込んでの此の逆鞘を此上突込んでも妙味なしと賣方も躊躇してゐるやうである、蓬萊米は既に移出契約百十萬袋を突破した模樣で移出商は產地から契約物を餘り買つて來ぬので一部正米市場へ買繋いで居り之に對して丸[illegible]一派が賣を指示で買つづけ六日發會すべき

七月廿 日限も去三十一日から早くも賣買始まり八十五錢どころで纏まりたる手合出來し七月五日限には一日前場現在取組高六百六十四枚、六月二十日限には一百八十二枚合せて九百四十六枚といふ近頃にない大取組となつてゐる、賣方は八圓五十錢の賣現を確信してゐるやうであるが、一日前場で期米七月限と蓬萊先物とは石五圓八十錢の値鞘を示し

出盛安 を前で出し切つた感がないでもなく一方產地は昨年來賣方が出來青田賣買も少く案外持帶へ寄るだけに安値に賣られることになり内地からに安值待に見送つてゐるだけに現は空いて居り何れは時期にたつて買つて來なければならぬ事情にあるから出廻り前に安値を早く出した、本年は

出廻後 に却つて高値を出す順序でないかと云ふ人筋に見てゐる、因に休日前の正市にはマバラ賣方の利喰段出し之に對し李某が主として八圓九十二錢一本に買向ひ後場で先物百六十一車の大商内を示し引請期米引高を入れ九十四錢と引締り二日には八圓九十二錢買人と氣買く以合つた

株式軟勢

主力株新安値

内外株式は依然として[illegible]賣買は出[illegible]主力となつたフランの危機と[illegible]

し新東は百三十八圓と再び新安値を出し大新八十八圓五、日糖七十七圓八、銀行株は臺銀九十二圓五と新安値を出した、銀行株は夜來期に近づき極れ小甘く配當配當見越しの商銀に遂に好氣を持つて居り臺灣株では投資安の外殆んど保合で砂糖株はフランの切下げ實現せば利鞘も沮喪するであらうとみられ買氣を控いて一買に引殺んでゐる、最近の取引中値は次の通りある

	拂込	中値
臺銀	一〇〇,〇	七六,二〇
同新	七五,五	五三,〇〇
商銀	五〇,〇	八九,八〇
同新	一二,五	三三,二〇
三和銀	五〇,〇	五九,三〇
同新	一五,〇	二八,七〇
同二新	一二,五	一四,二〇
商銀	五〇,〇	二一,八〇
同新	三七,五	一五,四〇
同二新	一二,五	六,二〇
彰化銀	五〇,〇	二八,五〇
同新	一二,五	一四,五〇
華南銀	三七,五	九,二〇
同新	一二,五	八,八〇
興業信託	一二,五	三,〇〇
臺灣土地建物	五〇,〇	一九,五〇
打狗土地	一五,〇	四〇,〇〇
臺灣電力	五〇,〇	四八,二〇
合同電氣	二五,〇	一五,〇〇
臺南電燈	五〇,〇	五二,五〇
同新	四二,五	四四,五〇
臺灣製麻	一二,五	一二,〇〇
臺灣瓦斯	二五,〇	二一,〇〇
臺灣煉瓦	五〇,〇	三三,〇〇
同新株	一二,五	八,七〇
臺灣鐵道	一〇,〇	一〇,九〇
臺北鐵道	一二,五	四,五〇
新高鐵道	一〇,三	八,五〇
臺灣興業	一〇,〇	一五,三〇
臺灣興業	二〇,〇	四八,〇〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣[illegible]工	四二,五	二一,〇〇
臺灣[illegible]業	五〇,〇	八五,〇〇
同新	一二,五	四七,〇〇
基隆炭礦	二五,〇	二五,〇〇
同新	五〇,〇	五五,五〇
臺灣拓殖	一五,〇	二,六〇
大正[illegible]	一二,五	四,五〇
大成火災	一二,五	六,五〇
東光株式	五〇,〇	二八,〇〇
臺灣[illegible]竹	三三,〇	二〇,〇〇
基隆[illegible]	五〇,〇	一〇,〇〇
臺灣[illegible]	四八,五	三七,二〇
南部[illegible]	四〇,〇	二九,〇〇
臺灣[illegible]	二〇,〇	二〇,〇〇
中央市場	四〇,〇	二〇,〇〇
昭和家畜	一二,五	一〇,五〇
臺灣[illegible]	一五,〇	一二,〇〇
臺灣[illegible]	五〇,〇	四四,五〇
臺灣倉庫	五〇,〇	二二,一〇
南洋倉庫	五〇,〇	四九,五〇
同優先株	二五,〇	二五,〇〇
東海自動車	一二,五	一二,一〇
臺灣水產	五〇,〇	三〇,〇〇
同新	一二,五	七,五〇
昭和製糖	五〇,〇	三九,〇〇
沖繩製糖	五〇,〇	一四,五〇
臺東製糖	五〇,〇	四〇,〇〇
北海道製糖	五〇,〇	四一,六〇
臺灣社債第十回	一〇〇,〇	一〇〇,二〇

萬なかだち
電話賣買讓渡店 仲介…… 賣買人
求職一件一回 金四拾錢
其他 一回 金四拾錢
匿名 倍 額
築地町[illegible]ノ四 電ワ八八 拒居

期米
大阪堂島米穀取引所取引員
▲信用 アル内地取引員トノ取引ハ絶對ニ安全ナリ
▲内地 取引員ヲ經由セザル島内ノ相對賣買ニ清算ノ不安ヲ感ゼラレザル乎
▲支拂 迅速取扱明瞭ハ弊店ノ信條ニシテ常ニ實行シツヽアリ
▲新規 取引御希望ノ方ヘ御照會ヲ乞フ直チニ詳細回答ス
大阪市北區堂島濱通一丁目
白洲克己商店

象牙玉各種
ラシヤ各種
チヨーク・タップ
クツシヨン・ゴム
キュー各種
其他附屬品一式
玉突臺製造
家庭用玉突臺
カタログ進呈
大阪市北區老松町三五〇
橋龜男商店
電話堀川二一六二〇番 振替大阪七三一七〇番

脂肪消化にサロミン（錠劑）

美食しながら 痩せる、下痢をする、肥り過ぎる—これ等は、脂肪分が完全に消化されて居ない證據です

胃腸が脂肪を消化することが出來ないと、脂肪消化不良による下痢症を起します。また、全身の新陳代謝の障碍は、脂肪過多症の原因となつて内臓諸器管に不自然な脂肪の沈着を起し、呼吸困難、心悸亢進、頭痛、全身倦怠等を訴へて、引いては心臓病、腎臓病、卒中等を惹起して、遂に生命さへ失ふに至ります。

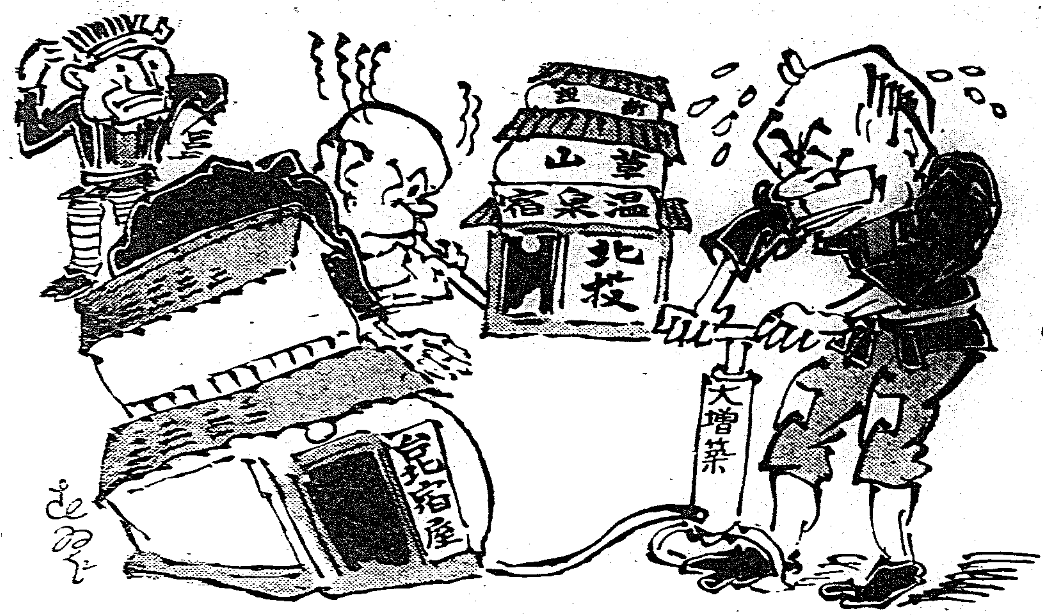
"胃腸を強くして生活を朗かに"

錠劑「サロミン」は、脂肪の消化を扶ける
強力なるリパーゼを含有して居りますから、こうした脂肪の消化不良による胃腸の障碍を容易に解決するばかりでなく、
發育を促進するビタミン
細胞を強化するアミノ酸
其他十數種の成分によつて根本的に全身を強化します。故に、
一、美食しながら痩せてゐる人
一、脂肪分を食べると下痢する人
一、見苦しい程肥り過ぎてゐる人
これ等の人々は、速かに錠劑「サロミン」を御服用下さい。あの食後の嫌な腹部の壓迫感、嘔吐感、胸やけおくび等が、忽ち氣持よく消え去つて、胃腸は常に健かに、生活はその日から朗かになるのであります。

藥價
三百錠 一圓五十錢
百錠 五十五錢

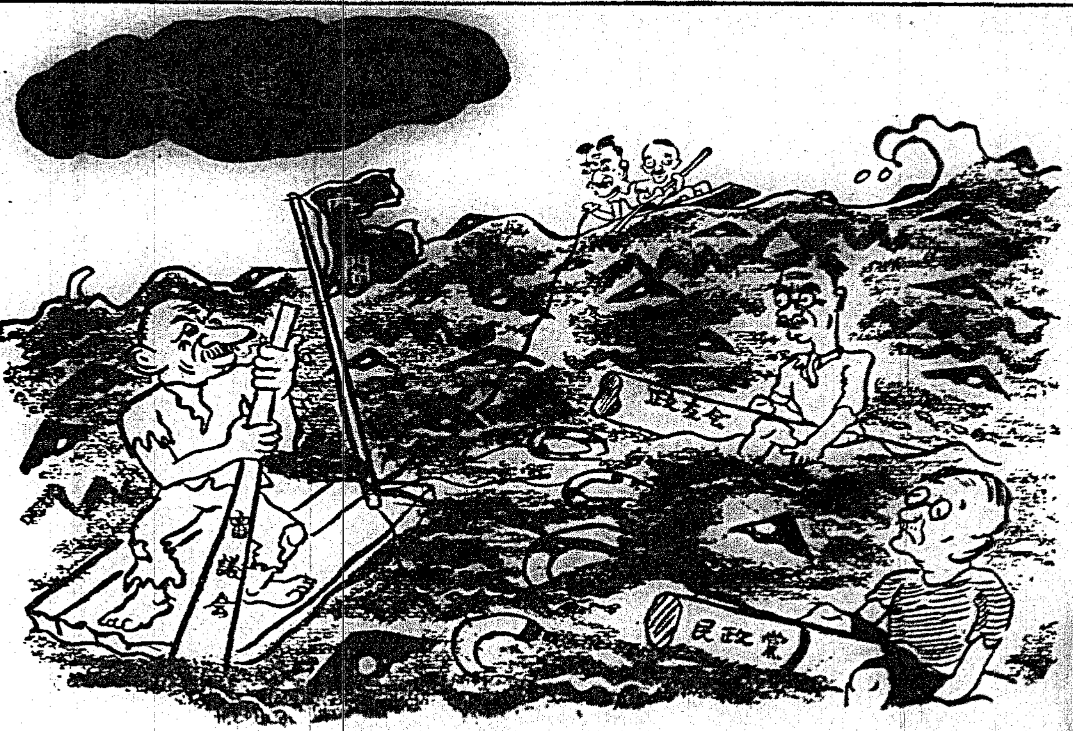
醫學代表
食養家サロミンは醫家の處方箋に書かれて病者に投與されて居りますが近くの有名藥店にも販賣されて居ります

發賣元 [illegible]株式會社製藥部
代理店 小井大藥房



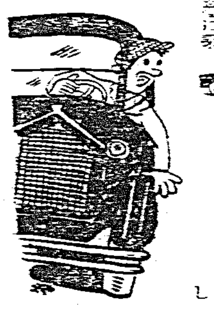
博覽會を目當にて

今秋を見込んで。盛んに皮算用が行はれてゐるンです



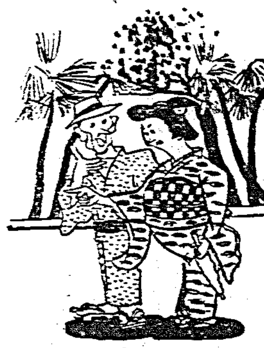
雨か風か

折角の二つの夜も別れ／＼になり
新黨（黨）發見に出掛けるものもゐる
さても不安な政海よ
陣笠クラゲばかりはこのところユラリ／＼だ



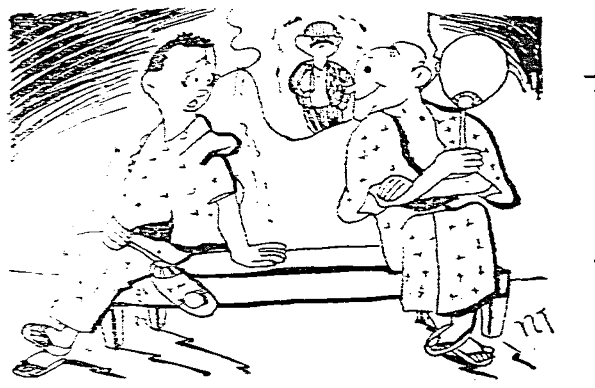
調和美

「ネエいいでしよう
あつちの洋裝は私に乘
りませうよ」



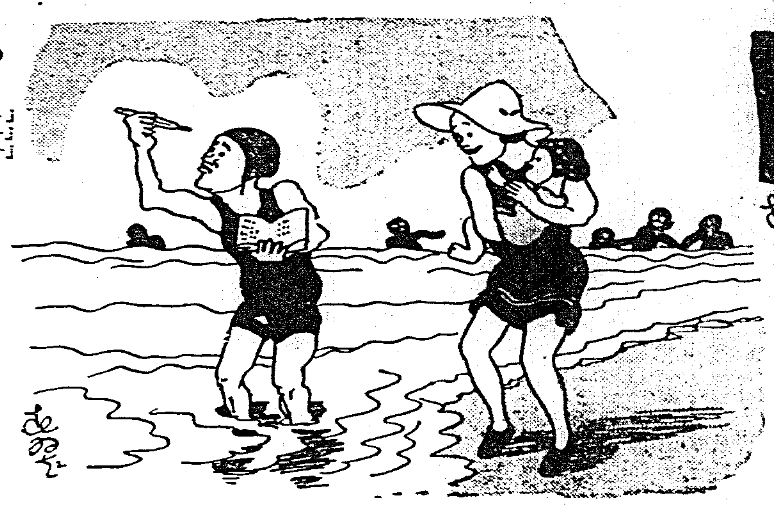
初夏風景

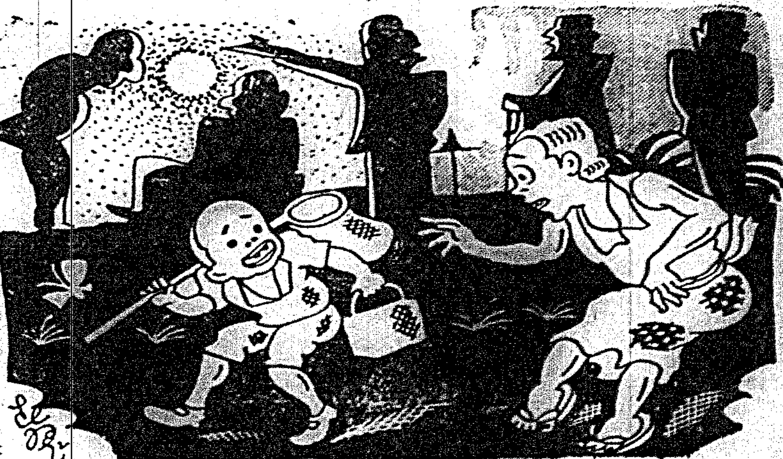
「トメさんばかに暑いね」「こうんにき暑いよ」
「そりや又どうして」
「今夏も借金取りがくるんでね」　吉ただし



衛生家と海水浴

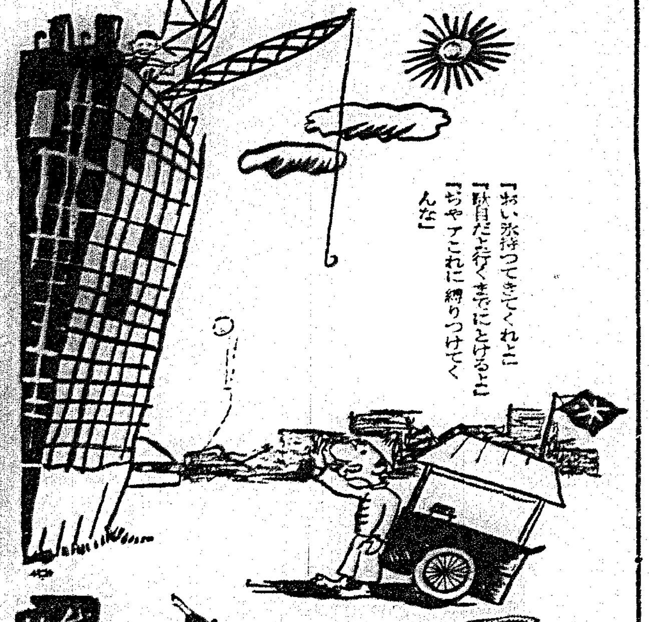
若き父「エーと海水の溫度は何度だつたけナー」
若き母「何度以下は赤ん坊にいけないのか調べてね」



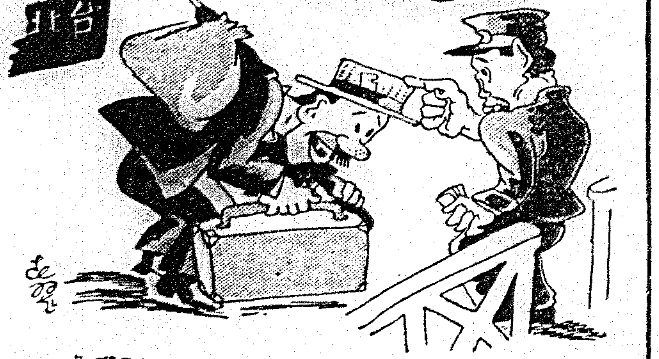


豪い人は無帽

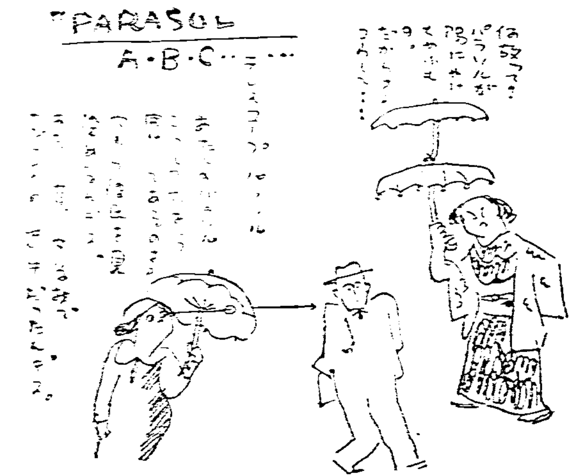
「森君へ散步に出るのに帽子を被らんといふことがありますか」
西坊「ダッテ豪い人は皆んな帽子なしで炎天に立つてるよ」

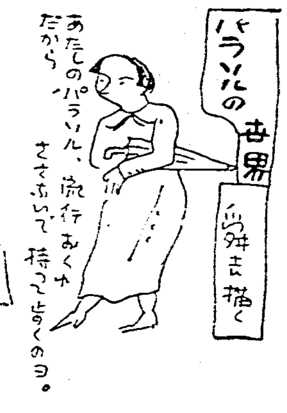


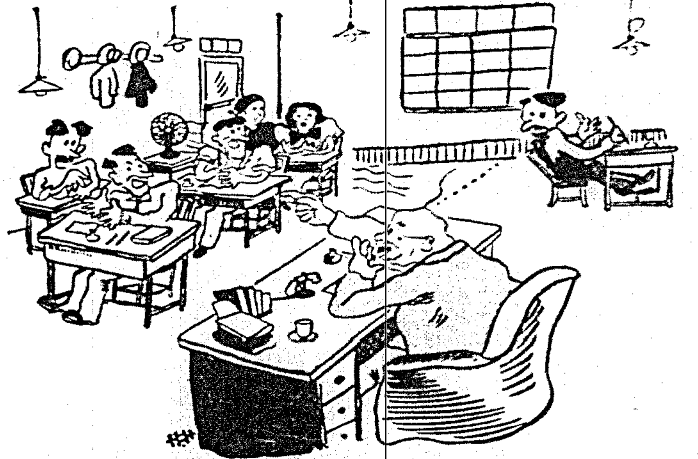
「おい氷持つてきてくれよ」
「駄目だよ行くまでにとけるよ」
「ちやアこれに縛りつけてくんな」



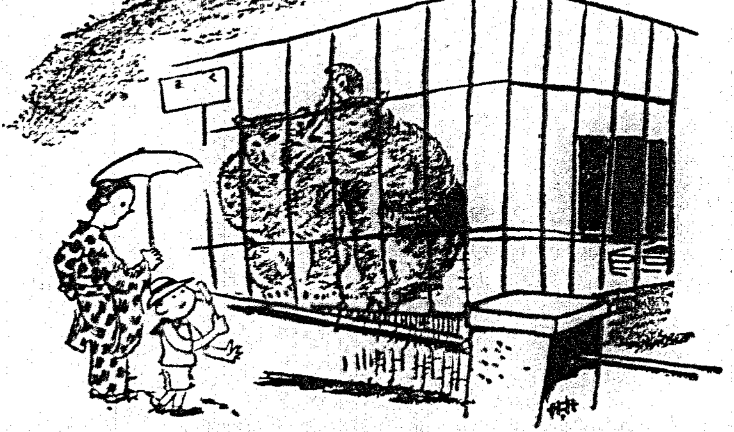
改札係「モシ／＼切符を」
旅行者「ハイ／＼、どうぞ受取つて下さい」


PARASOL
A・B・C……
何故つて？パラソルが陽にやけちやうから……


パラソルの世界
烏丹吉描く
あたしのパラソル、流行おくれだから　さゝふいで持つて歩くのヨ。



「コラツ！わしの居る時に扇風機をかけるなと云つてるのにどうしてかけるのだ、わからんか、アーン」



思ひ出

くまの雌「あの子の持つてるのなアニ爺だらうね」
くまの雄「あれかい、アイスキャンデーと云ふものだよ、それにつけて思出すのは北國の雪の野原をお前と歩いた時のことだよ」
くまの雌「ああ思出したわ、とても樂しかつたわね」

面膚髮之
◎ミツワ石鹼

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪、故不溷濁、又因無混雜物、故不見沈留渣滓。再用「フエノールフタレイン」（[illegible]見付大[illegible]印）細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂純正雪文也、我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤倘黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹼
不唯稱謂化學上純正雪文、尚具備有左列諸性狀。
一、確有溫雅芳香。
一、能生出極細泡沫、作用穩和、於洗滌時決不留殘雪文底碎。
一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之虞。
實於各家庭、浴室用化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、眞可節省之理想的實用品也

◎ミツワ石鹼欲圖品質愈佳不遑餘力日夜沒頭於科學的研究諸技術家士要各位
理學博士　小平[illegible]氏
藥學士　河村正[illegible]氏
[illegible]學士　三[illegible]氏
工學博士　[illegible]氏
工學士　野中正夫氏

（現品縮寫圖）

◎ミツワ石鹼有德用大形　三塊匣、六塊匣、一打匣三種

サーワ白粉
トモヱ石鹼
ミツワ家庭藥
ミツワ煉齒磨
ミツワ椿油
肝油ドロップス
ミツワホワイトワイン
ミツワレッドワイン

發賣元　登録商號◎　丸見屋商店
藥劑・滋養料・石鹼・香粧品・小間物問屋
東京・兩國　振替口座東京七一〇番
電話浪花（67）代表番號　[illegible]

對台灣各處均以格外勉强從命敢祈直向敝商行賜顧訂購爲荷

合名會社　張　德昌商行
臺北市入船町一丁目
電話 一一三九番　[illegible]
振替口座 一一六五番

天使（94）

（其上映）

横光利一 作
宮田重雄 畫

八の八

幹雄が風呂から出ると、貞子が這入つた。彼はひとりになると、疲れのままに手枕をして、横になつた。まだそんなに遠くまで來たとは思はなかつたが、東京を離れて一晝夜もたつと、彼は傍にゐる貞子が、だんだん心に溶け込んで來るのを感じた。

これで奈良まで行くとすれば、どこかで二人は、必ず結婚しなければならぬであらうが、それなら何でまだ我慢して、互ひに不愉快な思ひを、忍耐してゐるのであらうか。

幹雄は、この自分の氣持ちが、自分にも分らないのであつた。ただ、延ばせるだけは、結婚を延ばしていきたい、とさう思ふだけではないか。恐らく貞子もさうだらう。

けれども、幹雄は、時時貞子に受けた恥辱を思ふと、出來る限りは、恐怖に恐怖を重ねて、貞子と結婚しないでゐなければならぬと思つた。

「これは、男の意地だ。どんなに貞子を愛しやうとも、斷じて愛する顏は出來ぬ。」

とかう幹雄は決心した。

「いいお湯ね。」

貞子は湯から上つて來ると、見違へるほど美しくなつて來た。今までは、貞子は化粧をしたことがなかつたから、彼女の美しさは、いつも同じであつた。しかし、今の貞子は、念入りに化粧をしたせいか、[illegible]さは少しもなく、以前の富豪の娘の氣品が、どこともなく選ばれて、おほどかにゆつたりと落ちつき拂つた、あでやかさは、眼にたけた輝くばかりの美しさであつた。

幹雄は、しばらくぼんやりとして、貞子を眺めてゐたが、これには困つたことになつたと、内心うろたへさがすやうに、屈辱を彼女から施して顏を見た。

貞子は手拭を鏡臺にかけると、すらりと立つて、さも嬉しさうに、土地の景色を眺めてゐた。

「名古屋はこのへんになりまして？」

「[illegible]はここから見えませんね。明日、見物に行きませう。」

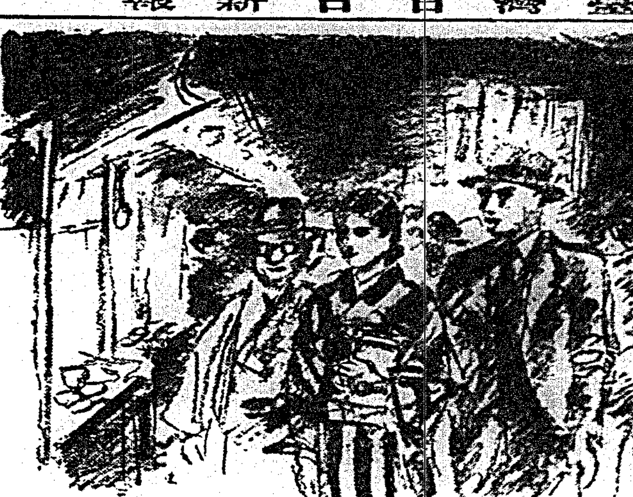
貞子は幹雄と向ひ合つて坐つた。ほんのりと染まつた肌が、襟の間から、かすかに呼吸してゐるのを、幹雄はときどき眺めながら、果して貞子は、自分と結婚する氣持ちであらうかと、むしろ疑はしくさへなつて來るのであつた。

二人は夕食をすますと、少しくつろいでから、廣小路通りを散歩した。

行き通ふ人々は、貞子を見て振り返るものが多かつた。その度に幹雄は、何とも知れず、貞子にいまいましさを感じた。

「これや、負けた。今度の旅行は苦しみに來たやうなものだ。」

しかし、かう思つても、幹雄はなかなかのどかであつた。二人は新婚の日もまだ遠からぬ者のやうに、むつまじげに並んで、あちらの店頭からこちらへと、絶えず微笑みをもらして歩いていつた。



二人が宿へ歸つたのは、十時すぎであつた。部屋へ上ると、もう床が二つ連ねてのべてあつた。

「これはいけない。」

とかう幹雄は笑つて云つた。彼はすぐ女中を呼んで、隣室へ自分の寢床を運ばせた。

女中は不思議さうな顏をしてゐたが、云はれるままに、床を別室へ敷きかへた。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ…臺北觀測所發表
【七・三〇】全國氣象通報（東京）
【八・〇〇】衞生メモ（東京）
【九・三〇】[illegible]（臺北）
【一〇・一〇】[illegible]
【一一・〇〇】[illegible]

午後の部

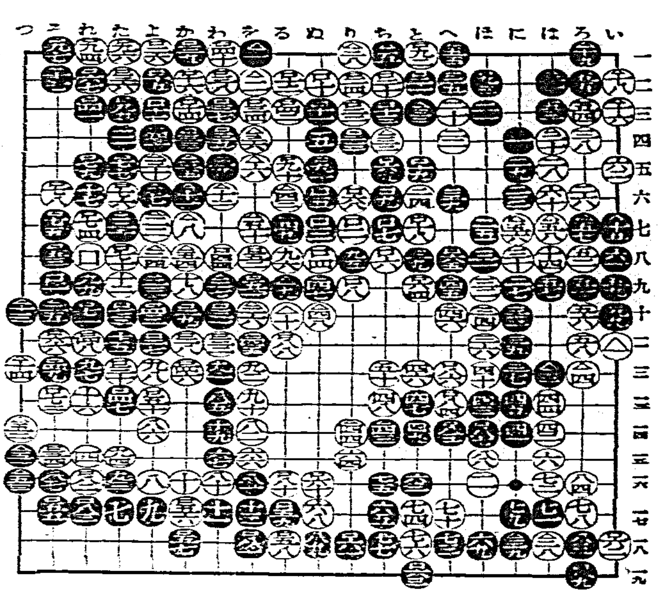
【一一・五九】正午の時報、[illegible]通報…臺北測候所發表
【〇・一〇】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】音樂時間（レコード演奏）長唄「爲朝浴衣」唄松永和風、三味線杵屋五三郎、同杵屋勝吉治
【〇・五〇】經濟市況に引續き内臺定期航路船入港時刻並に鐵道列車時刻のお知らせ…鐵道部運輸課發表
【一・二〇】野球の中繼（臺北）臺北市社會人野球聯盟リーグ戰[illegible]臺北市圓山野球場より中繼
【一・四〇】全國氣象通報（東京）
【五・〇〇】子供の時間（東京）お話「高松城水攻」（子供のテキスト三六ページ）高田馬治
【五・二〇】コドモの新聞（東京）
【五・二五】英語講座（臺北）初等科第二十四講…上村一仁
【五・五五】カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）お話「地震のはなし」[illegible]
【六・三〇】講演（東京）「初夏の[illegible]」農學博士内田[illegible]
【七・〇〇】義太夫（大阪）[illegible]豐竹[illegible]、三味線[illegible]
【七・四〇】小唄（東京）一、堤になびく　二、あの人の　三、引き汐の　四、おぼろ月夜　五、[illegible]唄小林きん、三味線[illegible]
【七・五五】連續ラヂオ・ドラマ（東京）「富士に立つ影」（[illegible]）[illegible]
【八・三〇】時報（東京）
【八・三二】[illegible]
【八・五五】[illegible]
【九・二〇】[illegible]

日本棋院 秋季大手合戰譜

（第十一局の九）先相先　三段 村田整弘
四目勝　先番　二段 藤澤庫之助



○△六をの十　●△七わの九　○△八りの一　●△一九わの五　○△二十よの五　●△二一たの七　○△二二ちの四　●△二三との三　○△二四劫トル　●△二五かの五　○△二六をの四　●△二七劫トル　○△二八はの十八　●△二九にの十八　○△四十劫トル　●△四一よの四　○△四二るの六　●△四三ちの十四　○△四四りの十四　●△四五への九　○△四六への十　●△四七ぬの九　○△四八ぬの十　●△四九[illegible]　○△五十をの七　●△五一つの十五　○△五二つの十四　●△五三つの十六　○△五四かの八　●△五五への一　○△五六にの七　●△五七うの七　○△五八にの七　●△五九への六　○△六〇劫ツグ　●△六一劫トル[illegible]

二百六十一手完了　黒四目勝
所要時間　白　六時[illegible]　黒　[illegible]

戰跡を顧みて

（[illegible]）

[illegible]

近著のクロニクルから

歐洲の風雲と米國の對策（下）

歐洲に於ける紛爭の解決も米國には直接の利益は少ないが歐洲に於て勃發せんとする戰爭禍は米國に偉大なる經濟利益を齎すものといへる。米國の經濟的利益が錯綜となつてやがてその中立が危殆に瀕する時は米國の參戰もまた避け得ないものである。然しながら

ルーズベルト現大統領は米國の經濟が脅威される時に於ても敢て武力に訴へるか否かは疑はしく[illegible]

[illegible]

×　×

政府當局の態度は極めて不安に[illegible]

[illegible]

普通圖書

（六月[illegible]）

[illegible]

雜誌紹介

[illegible]

最近著の雜誌

[illegible]

疲れも頭痛も取れ

頭腦が晴やかに

東京高等工學校長
工學博士 名井九介先生

誰にしても忙しくない人はゐないだらうが、自分なども仕事の性質上心身共に多忙の點に於ては人後に落ちなからうと思ふ。專門の研究家は勿論、學校の仕事、加ふるに色々な會合に引張り出されるので全くグッタリとして了ふ事も珍しくない。殊に頭の調子が惡くなるのが一番不快だつた。そんな譯で多少藥も服んだ事もあるが、近頃『はれやか』といふ藥が大變評判がいゝ樣に聞き、殊に私は圍碁が好きでその方面の仲間からも『はれやか』といふ名を始終聞くので、兎に角服んでみる氣になつたのであるが、案外の効目に實はその時以來持藥の樣に愛用してゐる。少しつめて仕事をしたり、寢不足などで頭痛がしたりする時には非常によろしい。それに私にとつて何よりも有難いのは、この藥は胃腸を惡くしたりする樣な副作用が全くない事で、今では自分の方から人に奬めてゐるやうな次第である。

附記

[illegible]

三十錢　五十錢　一円　二円　三円　五円
——全國各地藥店にあり。

人氣の絶頂！

懸賞
誰が一番頭を使ふか？

本廣告を全部御覧の上皆さんでお考へになつて左の五頁のうちいづれにか御投票下さい。

◆一家の奥樣（家庭の主婦）
◆學徒（大中小學生、[illegible]）
◆執務家（銀行會社員、商店員）
◆棋客（圍碁將棋界の人）
◆藝術家（文士、畫家、[illegible]）

賞金
一等　百圓　三名
二等　三十圓　十名
三等　十圓　三十名
四等　五圓　五十名
五等　一圓　五百名
等外　はれやか待針　殘り全部

規定

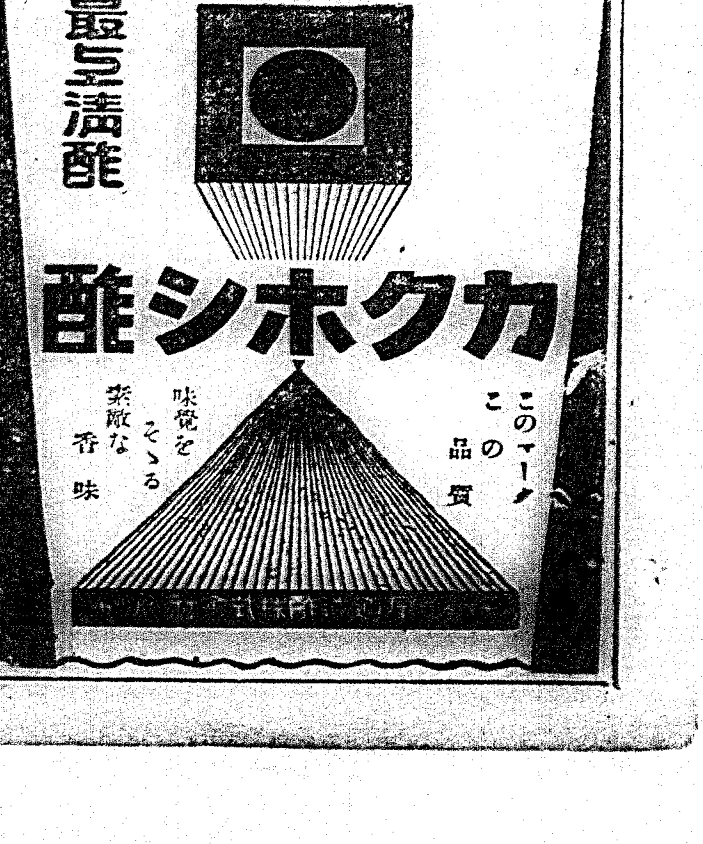
[illegible]

わたしの歯がそうしてさう白い？とは心得ませぬそれスモカでならそうさもないじやございませんか
タバコのみの
スモカ歯磨
定價三十五錢
東京化粧品
藥店ニアリ
732

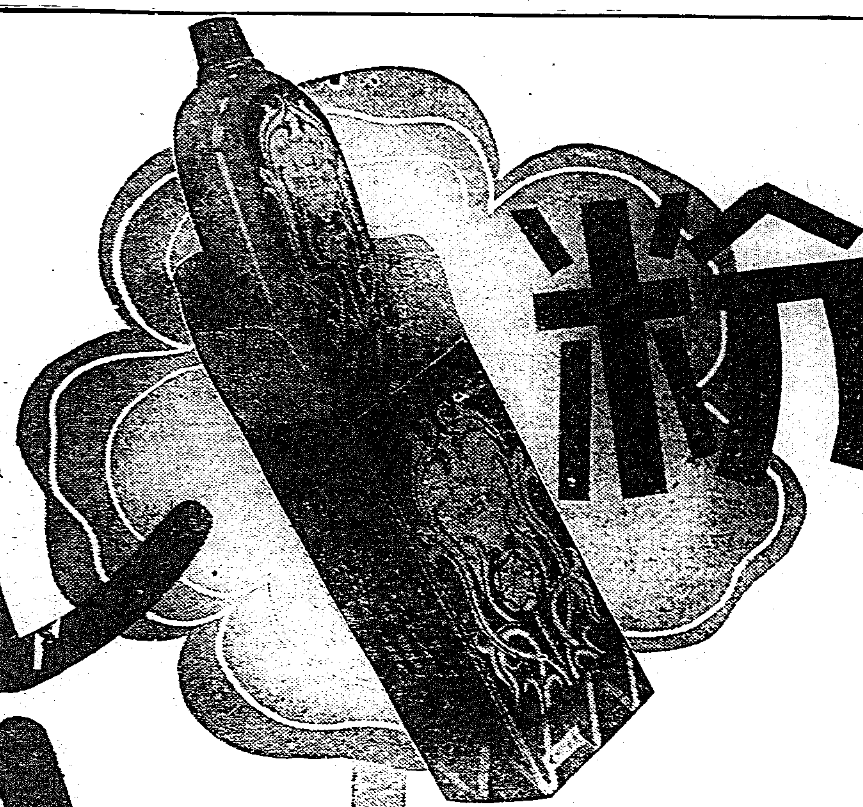
ヒステリー
はれやか
.30 .50 1.00

液体調味料
宮印
アミノ酸
調味料
半製品
グルタミン酸
鹽酸塩
粉末調味料
純結晶
味の大本
日の本パン粉
アサヒパン粉
大阪府楠根町
アサヒパン粉株式會社

東京專賣特許
インピレス
効力百パーセント
人畜無害
強力殺虫劑
世界的殺虫劑試驗法
ピートグラデー氏法採用
本邦唯一
化學的試驗合格品！
家庭の害虫
蠅、南京虫、油虫、蚤の退治はインピレスから。
全國藥店・化粧品店雜貨店等にあり
總本舖　日本香料藥品株式會社
臺灣　臺北市榮町一丁目


最上清酢
カクホシ酢
このマーク
この品質
味覺をそゝる
素敵な
香味

レート水白粉



レート水白粉

アブラ肌の方がおつけになりましてもムラにならず、アレ肌の方にも荒ずにノビて光澤美しくつき、すがすがしい麗人化粧を永く保ちます。氣高くなつかしい芳香はお心たのしくし、美の魅力を増すでありませう。キメ細やかに整へ、化粧水の効果も併ねそなへて居ります。

化粧品界の新女王として

豪華な包裝と
スマートな瓶形と
優れた
美白作用と
近代味溢るゝ
豐富な色調と
なつかしい
甘美な佳香を以て
レートの
新裝三品は
皆さまの前に……
デビューしました。

初夏から盛夏への
清新ハツラツの淡化粧料
レートの新裝品三種

近代化粧の最も優れた天使として**レート**の三品は生れました。淡化粧には、新裝**レート**の水白粉と粉白粉を、スピード化粧には**レートメリー**を御愛用下さい。

いづれも近代的な豪華、華麗な包裝、スマートな瓶形を持つばかりでなく、美白作用優れ、化粧作用淸新で、モダーン味豐かな各種の色調が整へられております。**レートクレーム**、**レート**固煉同樣……新裝**レート**の、水白粉、粉白粉、スピード化粧料の**レートメリー**を御愛用下さい。

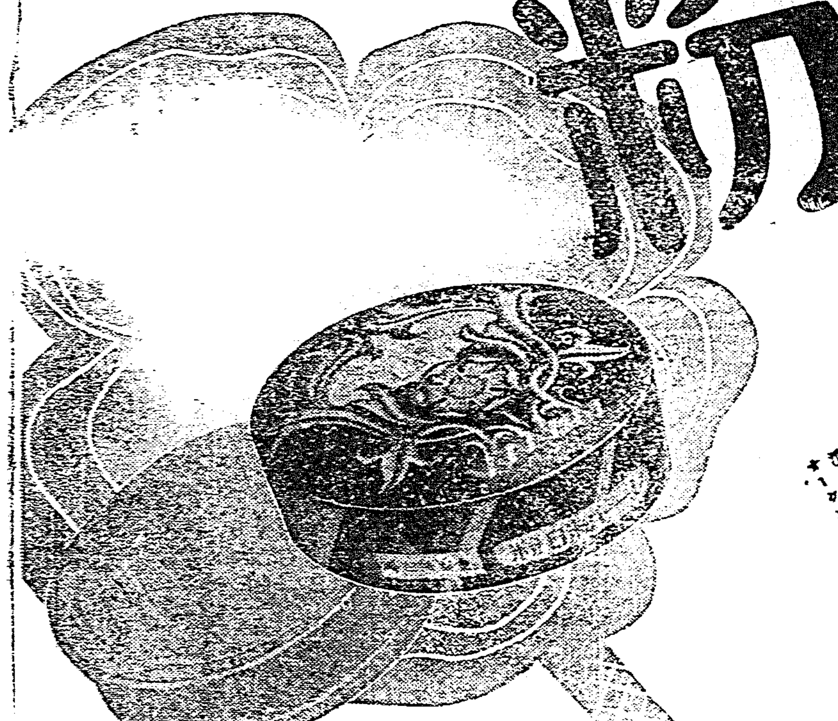
レートメリー　平 0.30
レート粉白粉　平 0.25
レート水白粉　平 0.30

レート粉白粉

レート粉白粉

[illegible]す。**レートクレーム**と下地として、[illegible]

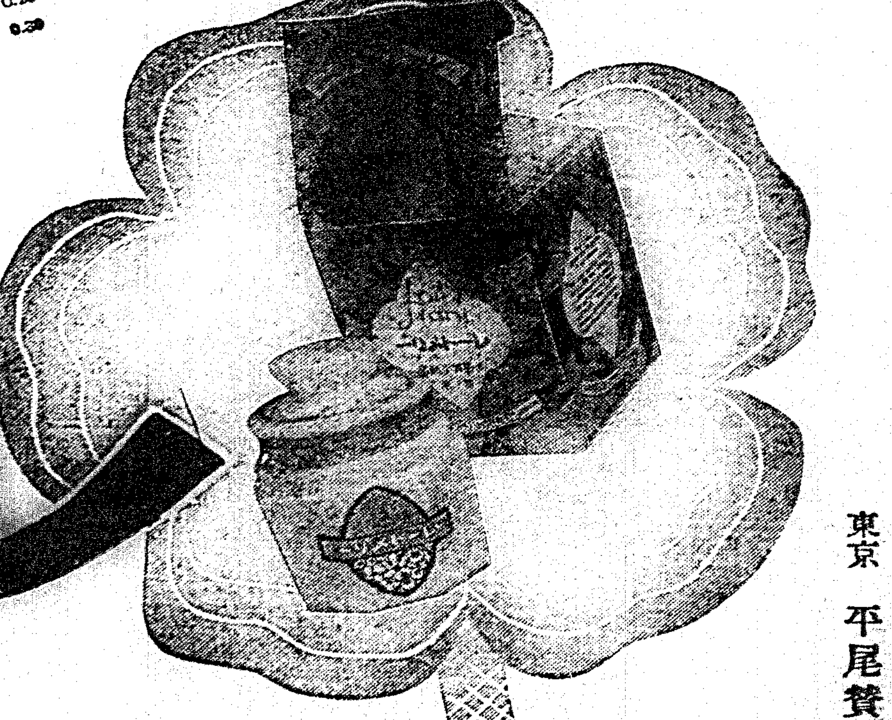
[illegible]**レート**[illegible]



レート水白粉　流行色四種
レート粉白粉
白　色…淸らかな淡化粧に適ふ色です
肌　色…[illegible]な少女達が現す色です
濃肌色…日ヤケの肌やカクシ化粧に
オークル…近代的な健的美をつくる色

レートメリー

メリーの流行色
白　色…生れつきの白さそのまゝ
あ　色…活々した健康色の明朗色
オークル…近代的美のカクシ化粧に



レートメリー

肌をやしなひつゝ色を白くし、色を白くしつゝ肌を護ひ、つけたと見せぬ美しい淡化粧がきはめて簡易に仕上る高雅な美肌美白料です。化粧崩れぬお肌にもよくつき、化粧くずれしませんから、家庭の主婦方、女學生、事務家など若き活動婦人方に廣く愛用せられて居ります。

東京　平尾賛平商店

寶の海底から初漁珊瑚一萬圓

試驗船の報告は上々吉

ただ基隆船の漁場荒しが懸念

【馬公一日發電】澎湖珊瑚の本格的試驗船六隻は澎湖廳試驗船開澎丸に引つれられ一日午前十時第一回試驗から馬公に多數官民の出迎を受けて歸航したが今回は漁場天候の都合で二日の作業であつたが漁獲高は鎭集丸を筆頭とし總額約一萬圓であつた、右試驗船の指揮者蘇梨材手の話した情報に依れば一昨年來基隆大成丸（有吉某乘込の船）外十一隻が侵入し來り珊瑚漁場に於て盛んに試驗船に相當近して漁業に從事しをる由で同船隻は二十七日付の臺北州水產會の珊瑚探險船たるものを携行し儼然なし得べき漁場の如く傍若無人に振舞ひをると云ふ右情報に接した澎湖官民は其の亂暴振りに大に刺戟され極度の憤慨をなしてをるが澎湖廳としては左樣の漁業者を徹底的に取締まる爲め取締の監視船を月中旬就航させる方針で同漁場に向け一此の海賊的行爲に近き一派の取締の爲要路當局に嚴重なる交涉を望む樣である、因に右珊瑚探險隊なるものを持つてゐても既に發見試驗中の漁場で珊瑚漁業を當然なし得べきものでなく何處迄も抑壓漁業だと云はれてゐる

大船隊を組織して更らに珊瑚林を調査

根據地問題等は急速に解決

目下問題になつて居る澎湖島の珊瑚新漁場の調査は澎湖廳の手で試驗船開澎丸の外民間六隻を傭入れて試驗を行つて居るが、一日歸港した前記七隻の試驗船の成績は別項の如く大體一隻當り千五六百圓見當で豫想した程のものでは無かつた、併し

新漁場

は何と云つても基隆等とは違つて陸から最短距離六七十マイルの所に在るので位置の確定が頗る困難で、從つて毎回同じ場所に行くと云ふ事は殆ど不可能であるから、之位取れれば良好の成績だらうと見られて居り、他面から云へば位置が不確定だのに之位の成績をあげた事は寧ろ漁場が廣範圍に亙つて居ると云ふ證據とも見られるので大いに有望視されて居る、今回問題になつて居る漁場の管轄權や根據地問題に就ては目下督府に於て保留

攻究中

であるが、近く殖產局長等の歸任を待つて問題は急速に解決される模樣である、右に付いて澎湖廳では今少し新漁場の經濟價値を確認し度き希望を以て來る六日から大々的に試驗をなす事に決し目下同廳で出府中の大磯廳長は臺北州內務部長、督府水產課長、與儀技師等と種々協議を遂げた結果民間十五隻を新に追加し合計二十二隻の

大船隊

を組織して調査を爲す事になつた、因みに調査隊に參加希望の向は來る六日以後に澎湖廳に出頭して許可を受ける事になつて居る、尙仲買人の希望者も相當多い模樣で澎湖廳では基隆の業者もあり人物を選擇する筈で根據地も定らず內大多忙を極めて居る

試驗船再出漁

【馬公二日發電】澎湖試驗船は全部更に二日午後出漁した

皇后陛下

二日御喪明け

【東京二日發】皇后陛下には御兄君久邇邦久侯が去る三月四日薨去あらせられてから九十日間御服喪中であらせられたが二日御喪明けとならせられたので大奧に於かせられては午前七時過ぎ嚴かな淸祓の御儀を行はせられた

震災地の特產品三越で卽賣會

賣らん哉の作品に非難もあるが

同情と好奇心で盛況

【東京一日發本社特電】督府物產紹介所にては一日午前九時より三越本店六階に於て臺灣震災地特產品卽賣會を開催した、場所柄と震災地特產品といふ名目だけに入場者は非常に多く、店內切つての盛況振りである、尙も初夏の節で夏向きのものを賣する季節であるがそれには特殊の製品にあつらへ向きだ、帽子、ステツキ、團扇、豆籠、竹細工もの、水牛の角細工等總べて夏向きの手輕なものは飛ぶ樣に賣れる此の分では一週間の會期中ものに依つては賣切れの盛況を見るであらう、午後二時中瀨殖產局長もやつて來て此の盛況振りを見てホクホクのエビス顏であつたが、さて少々苦言を寄せねばならぬ事がある、當地商人や玄人筋の感話を聞くと大要左の如くである「臺灣ものと言へば一時は珍らしいので相當營業を增したが最近ではお客の方から苦情が出て全く持てあましてゐる、といふのは籠細工品の原料が惡いといふのではない、原料としては內地に劣るべきものが多々ある、併し其の製作に至つては全く成つてゐない、例へば籠細工ものの如き同じ原料を使用しながら一尺四方の物でも五、六十錢であり、其の出來榮所によつて價もまちまちであり、又、桿等入れ其の外のものにしても外面に上等の原料を使用し內面にとても出來ない粗惡品の見替へをなし又內地品を模倣するに當り唯無茶な製作をなしてゐる、之等は製作人の不誠意と製作能力が乏しいからだ、安い賣らん哉の時代は既に過ぎた、今後は誠心誠意製作に親切でなければ內地進出は駄目である」と

臺北嘉義間を鳩が一飛び

一着は二時四十四分

日本傳書鳩協會臺北支部の主催、臺北嘉義間二百粁競翔會は二日午前六時半嘉義驛前に於て臺北はと會の十八羽を一齊に放鳩、當日は絕好のコンデシヨンに惠まれ早くも第一着は午前九時十六分歸着分速一、二七八米の好成績を示した、審查員田川中佐以下審查員の審查の結果によれば成績左の通り

一位　王文錦　二時四十四分　分速　一、二七八米
二位　汪水源　二時四十五分一〇秒
三位　陳思榮　二時四十五分四〇秒
四位　同
五位　同

少年勇士の武道練習　臺北武德會では二日から少年部の劍道、柔道の指導を開始した（寫眞はその練習振り）

先生の家庭に繼子虐めの大悲劇

哀れ先妻の二兒は畜生扱ひ

敎育界に又不祥事

【臺中電話】敎育者が又もや[illegible]小學生兄弟—物語の主人公は[illegible]兒は新竹小學校の三年生、弟は同二年生に在學中であり、實は去る昭和九年病歿[illegible]スを患ひ英一、英二兩兒を殘して他界してしまつた、二人の幼子を殘された吉川主席訓導は途方に暮れ一旦二人を鄕里奈良の祖父母の許で養育すべく預らせ、その後人の勸めによつて現在の妻秀子（三七）を後妻として迎へ昭和八年前記兄弟二人を呼び寄せ久し振りに新しい親子四人の生活が始められ前途は再び明朗に展開されんとしたがそれも束の間、繼母と繼子との間には矢張り解けぬ隔たりと不自然さがあつて常に吉川氏の惱みの種となつた、併も後妻との間に先頃[illegible]とルリ子[illegible]といふ二人の兄妹が出來てからは一層これは酷くなり果ては秀子は時々先妻の遺兒二人を虐待し[illegible]食事さへ滿足に與へないやうになつた、子供心にも食べたい物を與へられず、買ひたい望みも入れられぬので遂に兄弟二人は朝早く附近に配達される牛乳を盜んで飮むやうになり學校に行つては同級生の辨當を盜んで密に公園に持出して食べてゐた、そして空になつた辨當の箱もそのまま木の枝にぶら下げてゐたといふ事は遂に高じて今年になつてからは金品をも盜むやうになり[illegible]て來たらしい、子供も出來るし後妻を今更離緣することも出來ず困つてゐた模樣で「女房一人位敎育出來ないでどうする」と叱つたこともあるさうだが、侯として個人の家庭の內輪のこと迄命令する譯には行かないが今度は吉川君も肚を決めたらしい、去月廿九日の船で子供二人は妻君が內地の祖父母の許に連れて歸つたさうである

氣の毒な兄弟

新竹小學校長談

【臺中電話】右につき新竹小學校中川校長は語る　家庭に於る虐待云々は私は判然分りませんが學校に於る二人は眞に氣の毒でした昨年春頃から非常なるやうになり困つてゐましたので吉川君の奧さんによく話して置いたし學校としても全力を注いでよくなるやうにしてゐましたが遂にそれも報いられず去月二十五日吉川君が退學を願出たのでこれを許した譯です

敎育者として

慚愧に耐へぬ

【臺中電話】吉川信氏談　二人の子供を隔離させたのは子供に不行儀な點があつたからです、家內が虐待をするとか飯を與へないとかいふ事はない筈でよく注意してゐますが、家內は勝氣で剛情で幾分ヒステリツクな性分なので偶々私が叱しく云つたものです、子供を救ふ爲め[illegible]へば家庭は風波が起りどうも困つたものです、[illegible]後妻を迎へましたが結果は全然反對でした、敎育者として二人の子供の敎育さへも出來ず眞に慚愧に堪へません、これから兄弟も祖父母の許で幸福に暮してくれるでせう

始政記念　四十年間の臺灣

本社主催座談會（3）

裸で洗濯中に三千の敵が包圍

行くこと七里渡仔頭につく

軒毎の白旗は敵の術策

杜撰な地圖をたよりに前進

堀內　この上陸しましたのは十一月の午前五時頃から月蔭をして上陸した譯であります、所があそこは非常に遠淺で島が幾つもあるものですから、運送船の方に行つて來てあつた譯で[illegible]陸に着いたと思つて船を降すと島だつたので大騷ぎをして又船を降して戾つたと云ふ事が大分あつた事を覺えてゐるが、尙、携帶行糧や水筒、コンデンスミルク等を腰縫にする心算で携帶して段々島の方に近づいて來たが、この間が一里以上はあつたと思ひます[illegible]行く心算だつたが水も得られない何もなく、[illegible]

[illegible]地圖の地も當にならない頃に地圖で凡そ見當を付けてこの邊からどの邊迄何里あるだらうと、[illegible]でしい地圖に決めてあるものしかなかつた、それによると布袋嘴から三里程行くと渡仔頭と云ふ所がある事になつてゐる（實際は渡仔頭と云ふ所はないので）布袋嘴から上陸して二師團の（二萬五十名位でありましたが）の者を[illegible]大隊長が率ゐて海岸を通つて行つたが、あの邊は鹽田許りで魚塭等が澤山あつて道も何もない、川も竹を二、三本渡してある所が澤山ありました、これを渡つて行くのに我々は馬に乘つてゐるものですから苦心したものです道のない所を通つて行くのですから偶に小道があつて、其處を進んで行くと人家に入つて道がなくなると云ふ具合であつた、途中の家では何處でも白い旗が立つてゐる、我々はこれを敵意のない事を示してゐると解釋した、[illegible]

[illegible]渡仔頭と云ふ所を聞くと一向解らないものですから[illegible]三里行つても渡仔頭と云ふ所はない、それから七里程行つたと思ふ所に渡仔頭と云ふ所があつたので、これは渡仔頭の間違ひだらうと云ふ事になつて二里位の心算が七里近く行つて終ひました、其處に行くには村の手[illegible]

[illegible]

座談會出席者

△堀內次雄氏（醫學博士、醫專校長、明治二十八年從軍來臺）△小宮元之助氏（州協議會員、二十九年來臺）△[illegible]△[illegible]△本社側大澤主筆、[illegible]

[illegible]

（寫眞は堀內博士）

ジユノウ號事件 控訴審公判

七、八兩日に開廷か

[illegible]から臺北地方法院へ管轄を移轉された怪閑船ジユノウ號船長ジー・デイアリング氏にかかる船舶法違反事件の控訴審公判に就き事件の重大性に鑑み公判に先立つて實地檢證の要ありとて[illegible]、馬公へ出張した[illegible]十一名等の一行は[illegible]なつてゐるが一方被告ジー・デイアリングの身柄は實地檢證中は各地へ連行取調べられる事と相成るべく從つて臺北への身柄護送は[illegible]實施檢證終了後の四、五日頃であらうと見られてゐる、尙公判は[illegible]辯護士の都合により[illegible]可及的速かに行はれるものらしく今の所證記錄の整理をも待たずに特別辯護人岡田博士著（六月の豫定）[illegible]なる七日（金）から直ちに公判を開廷し八日迄の兩日間に結審させるものと觀測されてゐる

强情な妻君

大岩校長談

【臺中電話】[illegible]

冷房裝置すれば十七萬圓かかる

市廳舍の改築に絡まり

八名の委員を選定

臺北市の市廳舍も新たに造られて來た[illegible]

臺中に飛行聯隊を

代表が陳情

臺中市協議會員[illegible]の六氏は二日午前六時十九分着列車で來北、九時半軍司令部を訪問、寺內軍司令官不在の爲[illegible]臺中近郊に決定され度しとの臺中市民一般の希望を陳情之に對して飛行隊の位置は調査の結果陸軍省中央部で決定するので今の所何處と確定してゐる譯では無く又發表する運びにもなつて居ないとの答辯を得て辭去、一同は午後[illegible]長官を訪問同樣の陳情をなした

基隆商和會でも博覽會にお附合

十日ごろ第一同評議會

【基隆電話】基隆商和會では今秋の始政博覽會に際し基隆でも何等か催しをやつてはとの事から[illegible]

福建丸入港

廣東は日貨を大歡迎

【高雄電話】商船廣東航路福建丸は二日午前七時高雄に入港したが下船客は上海駐在主計寄軍武官山本中佐、[illegible]氏等九十二名にて同船により齎された情報によれば排日の本場廣東は中央政府の對日政策好轉と現當局[illegible]によつて日貨を歡迎することの有利なる情勢から排日取締嚴重となり對日貿易も豫期されて日貨は物凄い勢ひで廣東市場に雪崩れ込んでゐると

自動車道路の開通式

きのふ瑞芳で

【基隆電話】基隆、瑞芳間[illegible]の自動車道路は既に完成、開通を見てゐるが基隆輕鐵會社では二日その開通式を瑞芳グラウンドで擧行した　朝は同地の故北白川宮能久親王殿下御遺跡地記念祭あり、午後より式に入つたが全庄では各戶國旗を掲げ基隆芸閣等の催物あつて賑つた　來賓は深川文敎局長、[illegible]臺北、基隆、瑞芳の官民代表者約四百、式は豫定より一時間半も遲れて午後一時半から始まつたが、先づ瑞芳[illegible]社長の式辭、深川文敎局長、[illegible]郡守、[illegible]臺北州自動車組合長、宮川庄長の祝辭あつて宴に入り午後三時終了した

六大學リーグ戰

早大再勝

【東京二日發】六大學野球リーグ早帝二回戰は二日午後零時卅分神宮球場で森田（球）、柳澤、關口、天知（壘）の四氏審判、帝大先攻で開始、九A對八で早大再勝した、所要二時間四十五分

帝	0	0	0	0	5	0	0	0	3	8
早	0	0	0	2	7	0	0	0	A	9A

バッテリー
帝　久保田—落野
早　桑原、若原—鶴岡

明大再勝

【東京二日發】明立二回戰は二日午後三時二十五分伊丹（球）、長谷、片桐、宮武（壘）四氏審判明大先攻で開始、結局三對二で明大再勝す、所要一時間二十八分

明	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
立	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2

バッテリー
明　吉田、田所—櫻井
立　有村、岡田—成田

鐵對專賣第三回戰はけふ

臺北社會人野球リーグ鐵道對專賣第三回戰は三日午後一時半から圓山球場で擧行される

天香氏けふ離臺

四月二十五日來臺以來全島各地に講演行脚中の西田天香氏は三日午前七時二分臺北驛發列車にて歸京する

政談演說會

臺政會主催の政談演說會は二日午後七時から[illegible]で開かれ[illegible]山下好太郎氏起つて一場の挨拶を述べ、續いて政局の動向と思想問題（山下谷次代議士）▲大陸に吼ゆるもの（久保三九郎）▲官有地拂下問題（古屋貞雄）の諸辯士が熱辯を振ひ仲々盛況であつた

眠る籠の鳥

臺北市有明町三の二八新興樓娼妓[illegible]（二二）は二日午後三時半頃無斷外出し間もなく歸樓したが、程經て人事不省に陷つて居るのを家人が發見、診察の結果催眠劑を多量に嚥下して居る事が判明、本人が一言も發せぬ爲め詳細不明であるが自殺を圖つたのでは無いかと見られて居る

理容會館上棟式

臺北市理髮組合の新築にかかる理容會館上棟式は三日午後二時半から擧行する

中埔小學校保護者總會

【中埔電話】中埔小學校保護者總會は二日午前十時半から同校で開催、川田會長より九年度の決算報告を爲し、次に同會長は都合に依り辭任、其後任は投票の結果村上街長が當選して就任挨拶の辭を述べ、十年度の豫算を審議したが原案通り可決正午散會した

けふの天氣

△臺北地方　南の和風曇り驟雨
△北部地方　南の和風曇り驟雨
△昨日の最高氣溫　八十七度八分午後二時
（臺北測候所發表）

運動記事は漢文面にあり

水牛の角

ライオンの競賣は三日午前十時から行はれるが、一二日下見に押しかけたものは無慮五百名を突破する盛況であつた　廿有餘年斯界に精進した店だけに什器にも家具にも又陳列にも作品や商品的價値なものも相當あり　そぞろに賣られ行く哀愁を感じさせられると

○

ところで嬉しいのは同業者の同情である。競賣物を目前にしてライオン狩りが營業所を賣はれたのに同情し、福屋、岡村正副組合長はじめ何れも無理をして安く賣るには及ばぬ、買殘ればワシが引きうけると慰めてゐるとの事だ、下見には本島人方面の業者も相當押しかけ競賣物の前景氣を煽はせてゐるとか

特別廣告

競賣入札

愈々本月三日午前十時ヨリ全部競賣ノママ下見ヲ願ヒマシタ右ライオン今秋ノ博覽會會場敷地ニ指定サレ[illegible]一時立退キヲ[illegible]只今ヨリ御期待ヲ願ヒマス

新公園　ライオン　電八二四、二二七五　正宗

新聞取次店新設

鷺洲庄　蔡文龍

今回前記通り新聞取次店新設致候間何卒舊社同樣御引立に預り度此段御願旁々廣告候也

新聞取次店變更

新營街　陳生仙
北港街　吳清老

今回都合に依り前記の通り新聞取次店を變更致候間何卒舊社同樣御引立に預り度此段御願旁々廣告候也

臺灣日日新報社

たつた五日間の傑作　家族向娛樂番組

キャバレーの鍵穴

新妻と居候

新世界館

北華惡化謠言百出
財政部長邀銀行家
懇其防止財界動搖

上海一日電。財政部長孔祥熙氏。因北華來惡化謠言百出。一日午後。邀宋子文以下主要銀行家七名。參集自宅。懇其防止財界動搖。安定人心。及銀行界之善後云。

河北首席
于學忠罷免

南京一日電。國民政府。一日午後。開臨時緊急中央政治會議。協議北華問題善後策。先決定罷免河北省政府首席于學忠氏。一兩日中將發令云。

學忠專恃張宋合作
欲陷汪黃氏等

北平一日電。于學忠氏。被何應欽氏勸辭河北省主席。而拒絕者。乃爲學良與宋子文合作之政治的背景。乘北華問題機會。欲陷汪精衛黃郛一派於苦境。我軍當局。此點嚴重監視之云。

反滿言動被拘
嚴重抗議

滿洲里一日電。外蒙代表欲參列滿蒙會議。三十日到著。而沙鐵從業員朱哇里。作反滿的言動。被留置於特別警察署。滿洲國外交部。一日對沙鐵代表郎寥氏。嚴重抗議。

遭遇匪賊
我軍追擊之

奉天二日電。東邊道桓仁掃匪行軍中之水原警備隊所屬下村連山關部隊。三十一日午前十一時。遇占據本溪縣賽馬集東北五里城門溝附近一帶之匪賊三百名。敵從東南潰走。同部隊更追擊中。此戰鬪神奈川縣步兵二等兵三岳秋三戰死。四名負傷。

對日方針
從來有誤
望速圓滿解決

上海一日電。北華事態。最近中國外交部當局。對我某官邊。具述國民政府部內內情。認定從來對日方針。有遺憾處。南京政府。決非欲與日本構釁。希望速回復兩國關係。俾歸正常狀態。致日如今回暴露失態。乃因北華及日本其他中國官憲。對中央之報告。從來重要點有誤謬。中央對日方針。亦有遺憾之點。故希此等之點速改。誠意迅速。解決今回事件。種々畫策云。

法國平價
斷不切下

巴里一日電。新藏相開彥氏。一日招集大藏省首腦官吏。作就任演說。席上高唱如左。

余對法貨之平價切下。不論照如何方法。皆絕對反對。斷不實行。經已誓約云。

林陸相視察
黑河國境

齊々哈爾一日電。林陸相一日視察大黑河國境及駐屯部隊。午後三時四十分抵齊々哈爾。視察駐屯部隊。在齊々哈爾旅館。開日滿官民招待晚餐會。

臺鐵對中央鐵道省
交涉旅客運賃折減
內臺間減二成參加週遊券

交通局鐵道部。乘臺博機會。欲補從來連絡缺陷之處。先欲改正列車時刻。今回更對中央鐵道省。提議以圖內臺間旅客流通。普遍減。及勸誘內地旅客多數渡臺。以資內臺人之融和及產業文化向上發展。該提案如左。

一、內、鮮、滿間。施行中之個人往復旅客運賃。減二成制度。希適用于本島往復之個人旅客。

二、內、鮮、滿間。現在施行中之周遊券制度。希加入本島。而臺內間亦希設同制度。

右第一案。似覺難望實現。第二案爲內臺交通容易化。切望實現。就中遊覽地指定。附適用期間。二個月間等之制限。旅客甚得便利。又運賃。鐵道減二成。汽船一成云。

臺中州起卸賣氷價七錢
諸仲買人開大會反對
決議小賣利益最少三錢

臺中州下氷價及協定區域。由州當局作成協定案。按近日發表。去三十日。製氷業者。集于某處。就氷價協定。種々密議。決定起卸價一貫七錢。去三十一日。通告于仲買人。對此仲買人大駭。是晚八時。開仲買人大會。講究對策。決定如左。

一、一貫卸價七錢者。小賣改爲十錢。

二、州當局發表協定案時。一貫仲買人利用。必有三錢。陳情于當局。右決議案。由關係委員加藤。魏坎諸氏。陳情于州當局。

大甲帽蓆組
決算總會

大甲郡大甲街大甲帽蓆同業組合第二十回決算總會如既報。去三十一日午前十時二十分。開于鎮瀾宮。來賓大湖吉光郡屬。重井帽子檢查所長。鄭助役等。及出席組合員九十四名。委任三名列席。由書記杜瑞抱氏。述開會詞。組合長杜清氏敍禮。就議長席指名林章柯榮水二氏爲署名者。杜書記報告昭和九年度決算。李高春氏。報告監查。王錐氏質問賦課稅金及大甲藺獎勵金之件。議長與杜參事。答以新竹方面之檢查嚴重。大甲藺栽培獎勵。因希望栽培者無。不能如獎勵。其後王氏不平。宣言業推退場。終通過原案。第二條總會字句中。有受監督官廳指示許可之時。一任組合長之例。亦無異議通過。次柯天利氏。議滿洲視察談。又王錐氏退場後閱十數分再入場。質帽子檢查所事務所建築腹案之有無。陳啓朋氏答以該問題與當局種々磋商。認定同業組合與檢查所。有聯絡同位置所在。認定街長隣右爲適當。恰王氏問起。特託王氏與鄭進丁氏交涉。向所有地者王燕翼氏交涉。正午議畢。續開宴懇親。至三時散會。

鹿港商工會
磋商存廢

鹿港街商工會。自理事長謝耀東氏去世。加以商況銷沈。會員無幾。去三十日午後二時。由街當局。招集理事及評議員十四名於街會議室。開存廢磋商會。席上或唱將現形廢棄而新組織。或論多募集新會員。然後辦事務一番刷新。結局以後說爲是。並選委員四名。入以當其事。待萬事就緒後。再開總會云。

宛家再變成親家
聘金詐取和解息事
將差就錯之應急解決

東石郡朴子街下竹圍王向之侄王老龜。與同庄許西元之女許氏水萍訂婚。於去二十四日。彩輿欲迎之過門。空輿而返。被王告訴許家詐取聘金一節。後經東石郡司法係究問。莫如男家王向之侄王老龜。執意欲收留許家許氏水萍。其伯父王向。亦無如何。遂以老龜意見。許氏女雖被李黃二人拐誘。比之娼妓。尚有紳士納之爲妾。愛如掌珠者爲勝。況許氏女雖淫奔。所過不過六七人而已。且當時許氏女。與余未成六禮。卽先赴陽臺。來至今日。豈可棄之。遂與女家和解。將告訴。于去三十日取下。收留許氏女。至是聞者咸謂老龜水萍。宛家再變成親家。各名稱其智云。

陳情州當局
欲爲善處

右陳情員一行。一日午前十時。訪問州廳。欲晤松野勸業課長。因不在中。會見森商工係長。提出決議案。對此當局。表誠意約爲之善處云。

區域協定案
集諸製氷業者
先行內示

臺中州下氷價。區域協定案。由州當局作成中。去一日午後一時。招州下製氷業者于州會議室。內示協定案。其區域如左。氷價按來十日發表。

第一區。臺中市。大屯。豐原。東勢。大甲各郡。

第二區。彰化市。彰化郡。員林。北斗兩郡。

第三區。竹山、新高兩郡。

第四區。南投。能高兩郡(除集々庄)。

勝運を捕へて
五A對二專賣雪辱
鐵團不覺の凡失を重ぬ

臺北社會人野球リーグ戰鐵團對專賣第二回戰は二日午後一時五十二分から圓山球場で擧行、先攻鐵團、審判鮫島(球)沖、高田(壘)の三氏炎天蒸し暑くグラウンド・コンディション稍軟弱、試合は劈頭第一回專賣第一打者坂井に鐵團渡邊投手は死球を與へ、高來の三壘線寄當り損ねの軟ゴロを渡邊一壘へ低投し坂井一壘より一擧生還高來も三壘を奪取し茅野の二飛で高來も還つて二點の先取得點を獻上してしまつた、此の凡プレーは遂に鐵團に重い負擔を負はせる結果となり專賣としては眞に幸先よきスタートであつた、鐵團一死にして深迫右中間三壘打を放つて野間口これをバントに還さんとせるは大切にゲームを運めたものではあるが如何せんバント打法の未熟さに深迫を本壘に憤死せしめた、七回無死坂井を二壘に置いて高來がこれをバントに送らんとして二度失敗し三振に坂井を二壘に釘づけしめたのと共に惜まれる、而も次打者茅野の左前安打を見るに到つては眞に惜むべき好機を逸してゐる、三回專賣は[illegible]

野間口の二壘ベース上を拔く安打を浴び鐵團は又も二點の負擔となり大勢は殆ど決してしまつた感があつた、六回鐵團は專賣田中投手の制球稍亂調となつたに乘じ日笠、篠原の四球玉井の三壘左を痛烈に拔く三壘打に二點を酬ひたが田中投手の重い直球で外角を攻められ凡退を重ね四本の安打も散發に終つてチャンスらしいチャンスも作り得なかつた、而してその反面には一のエラーもなく鐵壁に守つた專賣內野陣の好守も見逃されはならないであらう、遊擊花田三壘上村の好守が勝利への途に貢獻せることも見逃せない、九回の專賣は一死小國三壘左安打花田中前安打と集中し坂井の二飛を三壘手川島二壘に惡投し更に一點を加へ五A對二で快勝した、鐵團は渡邊、日笠の凡失が重大な結果を招來したとはいへチャンスの回數から云つても[illegible]といふ記錄上の數字から見ても[illegible]べきであらう

試合經過

專賣	2	0	2	0	0	0	0	1	A	5A
鐵(先)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

△一回 (鐵)日笠投前、篠原遊前、玉井投前(專賣)坂井死球、高來二一〇後の投前軟ゴロを投手一壘に低投して坂井生還、高來一擧三進、茅野の二飛で高來生還深迫右中間三壘打を放つたが野間口の投前バントで本壘を衝き憤死、上村三邪飛

△二回 (鐵)渡邊四球、木下中飛內山三振、三浦三ゴロ頭上を拔き渡邊二進せるも永田投飛(專賣)田中三飛山城投前 花田三振

△三回 (鐵)川島左飛、日笠二飛篠原三振(專賣)坂井遊飛、高來左飛、茅野遊前ファンブルに生き深迫スローボールを三遊間安打、野間口二壘ベース上を拔けば中堅これを後逸し茅野、深迫生還野間口一擧三壘を踏む、上村三振

△四回 (鐵)玉井三壘強襲セーフティバントに出たが渡邊の遊前で六—四—三の併殺、木下三振(專賣)田中中前安打[illegible]

△五回 (鐵)內山三振、三浦[illegible]

△六回 (鐵)日笠ストレートの四球に出たが二壘に刺され、篠原ストレートの四球、玉井三壘左を拔く痛烈な一打は三壘打となつて篠原生還、[illegible]木下遊前で玉井生還、內山右飛、(專賣)[illegible]上村遊前、田中ストレートの四球、山城に代つたPH福島三振、花田遊飛

△七回 (鐵)(專賣小國捕手に入る)三浦三振、永田三振、川島三壘左を拔く二壘打、日笠三直(專賣)坂井二一三後四球が高來得意なるバント打法はこれを送り殺す三壘に坂井一封、茅野左前安打に高來二進投手暴投に走者進壘、深迫敬遠の四球に滿壘、野間口の遊前は二壘走者茅野の足にあたつてアウト、上村遊前は危く野選とならんとしたがアウト

△八回 (鐵)篠原中前安打、玉井左飛、渡邊一邪飛 木下[illegible]

△九回 (鐵)內山に代つたPH敢田遊前、三浦遊前、永田に代つたPH才木三飛

專賣　坂高茅深野上田山福小花
　　　井來野迫間村中城島國田
　　　8 4 7 3 9 5 1 PH 2 6

	打數	安打	犠打	盜壘	四死	三振	殘壘	失策
專賣	32	7	1	1	2	5	10	0
鐵團	30	5	0	1	3	5	4	4

鐵團　日篠玉渡木內三永川
　　　笠原井邊下山浦田島
　　　6 2 4 1•3 3•1 9 PH 8 7 PH 5

(三壘打)深迫、玉井(二壘打)川島(犠殺)木下(併殺)花田—高來—川島(試合時間)一時間五十九分

臺北競馬（最終日）
甲班火の用心・乙班は荒熊
抽馬紀の國・速歩推島優勝

臺北競馬第四日目は六月二日午前十時から川端町臺北競馬場に擧行、最終日とて大賑ひであつた

△抽籤馬駈歩千四百米 1タトタカ(55又若健)1分41秒6、2金花56平井2馬身半、3因里山52又若節(6)2馬身半(單)4圓30錢(複)2圓30錢、1圓70錢

△丙混C駈歩千四百米 1トペベニア(53曾)1分45秒6、2永寿(56安永)3馬身半(單)6圓[illegible]

△乙混D駈歩千六百米 1ヤヨイ(54堤)1分58秒2、2毘沙門57數田5馬身、3ワカナ(55坂本)頭(單)5圓20錢(複)1圓70錢

△乙混C駈歩千六百米 1第二ヘキシキ(58安永)1分57秒、2イカヅチ(57曾)3馬身、3長門(56平井)1馬身半(單)2圓30錢(複)2圓10錢、1圓

△丙混B駈歩千六百米 1[illegible](55又若)1分54秒4、2[illegible](53飯田)4馬身、3トップ(59佐野)3馬身(單)6圓50錢(複)3圓50錢

△丙班B駈歩千六百米 1アサマダケ(54岡部)1分53秒2、2サアード56嶺7馬身、3ミスサクマ(52肥山)3馬身半(單)6圓(複)3圓30錢、1圓30錢

△丙班駈歩特ハンレース千八百米 1觀音山55安永2分12秒2、2コーコー53越1馬身、3ハヤテ(56石井)4馬身(單)10圓(複)4圓70錢、1圓50錢、10圓

△抽籤馬駈歩特ハンレース千八百米 1紀ノ國(56佐野前)2分6秒8、2[illegible](52前)頸、3マツ(53上田前)6馬身(單)3圓70錢(複)2圓、2圓30錢、1圓50錢

△乙班駈歩特ハンレース二千米 1荒熊(61飯田)2分23秒8、2キタキタ(52安永)3馬身、3ハツビー(58佐野)2馬身(單)8圓70錢(複)5圓、3圓60錢、2圓20錢

△甲班駈歩大特ハン二千四百米 1火の用心(55越)2分50秒、2タカモリ(59堤)3馬身、3クリザンテーム(57岡部)2馬身(單)3圓50錢(複)2圓50錢、7圓、70錢

△[illegible]速歩特ハン四千米 1推島(63堤本後70)8分13秒8、2ミカヅキ(64又若後70)頸、3[illegible](64平井)1馬身半(單)2圓50錢(複)1圓70錢、2圓70錢

出場野球團
一次豫選
各團のメンバー

臺北市で開催する全島野球大會第一次豫選會に參加する各チームは左の如く決定した

臺北市團、新竹市團、臺中市團、臺南市團、花蓮港街團、高雄市團

各團のメンバーは左の如し

高雄市團 [illegible]

臺南市團 △監督林田 △[illegible]長谷川△マネージャー大津山△主將小栗△投手兒玉、有村、田上△捕手杉原、小栗△一壘田邊 村上△二壘尾形、上松、有田△三壘八百野、石川△遊擊喜野、今久留主△外野高松、立原、出島、李、鄧、鈴木

新營街團 △[illegible]△捕手大和、馬場[illegible]太田、大野、森野

花蓮港街團 △[illegible]△捕手[illegible]山下△[illegible]中、相馬△[illegible]三原、荒木△[illegible]外野[illegible]中村、大川

臺灣學生
卓球大會

全臺灣學生卓球大會は[illegible]主催で六月九日午前八時より臺北[illegible]で擧行されるが參加校は

【第一部】臺北帝大、臺北醫專、臺北高商、臺北高校

【第二部】臺北一中、臺北二中、臺北商業、臺北一中

【第三部】第一高女、臺北二女

子供プール
二日から開場

[illegible]

臺南州氷價
五日實施

臺南州下氷價。去一日認可。來五日實施。工場所在地以外郡部。小賣價格加算運至仲買人店舖運搬費。溶解量等。由同業組合指定之。屆出于當局。而當局指定氷價如左。

一、熱冷藏用及飲料用。臺南市。嘉義市。卸價五錢半。小賣八錢。工場所在地(郡部)卸價六錢半。小賣九錢半。病院用。卸價四錢。小賣六錢。漁業用大型船三錢。小型船四錢。市場用五錢。以上皆一貫之價格云。

草山第三會場
陳列觀光
限定臺灣內地

臺灣博第三會場。卽草山分館。最初按陳列觀光之參考品。該範圍。欲介紹臺灣。內地。及世界各國觀光地。至最近。鑑場所過于狹隘。變更限于臺灣及內地。其意匠大要如左。陳列場入門。有活動景色映出風光明媚之瀨戶內海諸島。汽船往來于島間。沿岸有汽車。來往光景。又正面設有新高靈峰。四邊配置臺灣八景。以電氣照明之。其次伊勢神宮。富士山。及雲仙。阿蘇。霧島等三大國立公園。並松島以下日本三景。京都。大阪諸名所。次眺望琵琶湖。參拜日光。及東京名所等。皆用電燈照明。顧各地觀光地模型陳列。宜求各地應援。義對關係各府縣。及州廳。發依賴狀。一面著々準備中云。

蠻訓導虐打七歲童
使之屎尿交流負傷
父兄等憤慨訴之郡役所

興直街第一公學校。自前田校長蒞任以來。對於該員。不能節制。而於父兄亦缺少聯絡。故不祥事件屢出。如第一青年團之[illegible]事。又訓導之毒打學童等屢[illegible]。不圖去二十八日[illegible]受持訓導。[illegible]玻璃窓。被人用小石擊破。斯時新興二八五番地楊仁與氏之長男楊思積。年方七歲。適當其宿舍墻外嬉遊。河崎氏不分黑白。將小兒[illegible]捉往。使之屎尿[illegible]宿舍。施以毒打[illegible]受其毒打。斯時校長在傍。不爲制止。反慫慂其掃交警察。其母乃急抱往四方醫院就治。剉爲腹部打撲傷及腿部挫傷。且胃腸及膀胱似有出血之狀。全治須要二週間。對此事件。父兄有志。急議善後策。先舉施玉斗氏外三名爲委員。訪問校長。見其態度頑固。乃於翌日。再訪彰化拔井郡守。於郡役所。並詰議校長。郡守答以將派視學。調查眞相。然後善處。聞被害家族。欲待郡守之處置如何。故[illegible]提出云。

請彰銀支店
設於大甲

大甲郡大甲街。此數年來益見發展。如金融之出收亦占第一位。對銀行會社商店之送金。雖託諸信利。終感不便。前聞有彰化銀行大東信託。株式會社。欲設支店於當地。經過許久尙未實現。當地人士。認有急設之要。由李晨鐘其他發起。作成陳情書。向彰化銀行。懇請急設支店。聞彰銀當局。亦決欲應其所請云。

臺中市內
盜難頻々

臺中市內。最近盜賊橫行。臺中署接受盜難屆。幾如山積。諸刑事皆極力搜犯。前頭臺中市綠川町陳文番商店之盜難二千圓。犯人尙未逮捕。去二十八日。臺中署南刑事。于大屯郡下。捕獲一竊盜犯。此人係新竹州苗栗郡苑裡庄土水業陳滿俊。年二十八。最近到臺中市內。于曙公學校新富小。農事試驗場等。並內地人官舍。專行竊盜現金衣類手提鞄等。其被害額。據所自供。多至三十餘件。價格千圓云。

南鯤身廟
祭典誌盛

既報南鯤鯓廟代天府王爺祭典。果如豫定舉行。其間善男信女。絡繹不絕。且由南北遠邇之貨切車乘合車自轉車牛車舟筏等。各蒞載香客。水陸並至。調祖之香陣。並進香團學生團等。頗多其數。而路義德義堂之龍鳳獅。六腳獅陣其他歌曲團等。到廟獻技。酬謝神麻者亦多。廣大之廟庭。幻出人山人海之盛況云。

臺南市營住宅
豫算十萬圓
按雨期後興工

臺南市。本年度新事業中之市營住宅建築工事。豫算十萬圓。俟九月雨期後著手工事。市當局爲此準備工作。對住宅敷地之東門町造林地伐採已完。近將行關地工事云。

東石實彈射擊

既報東石郡警察課員。實彈射擊會。經于去三十一日午前七時。在六腳庄後廟由射擊場。開始射擊。正午終了。等數氏名如左

警察課員一百米距離伏射
一等　泉巡查部長　三十一點
二等　幸木巡查　二十九點
三等　中村巡查　二十八點

警察巡視區對抗
一等　東石巡視區
二等　直轄巡視區
三等　內勤團

來賓
一等　田坂視學
二等　舟木

三峽祖師廟前
公開活寫

本社三峽取次店。及庄敎化聯合會。主催。青年團後援。訂本三日午後七時。於三峽祖師廟前。映寫滿洲國皇帝陛下御訪日。並新竹臺中兩州下大震災之活動寫眞。以無料供一般觀覽云。

黃色葉煙草
耕地擴大
每年百甲內外

花蓮港專賣支局管內。黃色葉煙草栽培面積。逐年擴大。十年度按三百七十甲。賠償金三十五、六圓。十一年度。按再擴大百十甲。合從前之分。計四百八十甲。賠償金四十四、五萬圓。右擴大區域。三移民村。及瑞穗村以外。三笠村。亦有一部分。現著々計畫中。又耕地擴大之耕作者。向移民村中。銓衡希望者。花蓮港廳下。耕作適地。經調查完了。有三千甲。對此專賣局。每年按擴大百甲內外。在此數年間。栽培面積。達六、七百甲云。

宜蘭

醫師交代

臺北仁濟院宜蘭診療所主任。細見仁氏。者番辭職。後任爲當山照次氏。去二十九日着任。由街丸田庶務主任東道。訪問市內各官衙並街有力者敍禮。

敎化講演

宜蘭街敎化聯合會。去三十一日午後七時半起。在宜蘭街公會堂。延東京高等商工學校長衆議院議員山下谷次氏。開講演會。講題爲思想之動向。與敎育問題。是夜聽衆約五百餘名。九時半散會。

擧表彰式

專賣局宜蘭出張所傭人表彰式。去一日午前七時半。在所內招集職工百十一名。由森永所長致各主任引率。參詣宜蘭神社。午前九時半。在該所內紅酒工場。擧表彰式。永井庶務主任開會敍禮。森永所長對入賞者著行賞二名。勤續賞十年以上三名。五年以上六名。皆勤特等賞十年以上二名。一等賞七年以上五名。二等賞五年以上九名。三等賞三年以上七名。計四十五名。各授與表彰狀及金一封。後局長祝辭。所長訓示。來賓祝辭。閉式後續開傭人慰安會。

媽祖繞境

宜蘭郡員山庄大湖陸子園。爲祈初穫產物豐收。去一日迎媽祖及宜蘭管內衆神繞境。陣頭音樂團十餘陣。頗見盛況云。

基隆

祝賀優勝

海軍記念日。於大沙灣海水浴場。短艇競漕之時。社寮島參加競漕。社寮島組龍舟。兩濱町。八斗子。各組龍舟一隻。大會優勝。受市尹賞。島民引以爲榮。去三十一日。在該島演劇祝賀。並開慰勞龍舟乘組員。聞八斗子。濱町。仙洞金包里方面之人。現亦各猛烈練習中云。

及第普文

基隆市幸町。鄭慶森氏長男。儀正君。者番及第普文試驗。其出身學校及地方。咸引爲榮。有志謀有以祝之。聞鄭君乃壽公二十八回卒業生。因家淸淡無力入上級學校。日就傭於建物會社。補助家計。夜則就學石坂夜學校。補習數年。以優等畢業。其父原有漢學。熏陶取資。今次普文試題。有浩然之氣四字。以國語譯說。非有漢學素養者。實難措手。君年方十九歲云。

役員更新

基隆市瀧川公學校。兒童保護者會役員。任滿更新。佐藤知下會長吳百川。副會長林福時吳永霖。幹事武田富校長。外二三氏。評議員蔡連深。外三十八名。

大溪

修橋美擧

大溪街埔頂至南興之間[illegible]區部長等、[illegible]雪危險。者番當地楊清朝氏。有鑑及此。發起設計鳩集百餘金。爲之改造爲橋梁。數日前經已興工。美擧也。

龍潭

部長轉任

大溪郡警察課勤務島人部長徐秀蘭氏。就任二年二個月。頗受一般好評。者番榮轉新竹警察署。街民惜之。去三十一日午後六時。官民六十餘名。於當街溪畔酒場。開送別會。

保護者會

龍潭公學校兒童保護者會。者番役員會協議結果。定來六月三日午前九時起。在該校講堂開催。因學校與父兄相互聯絡兒童敎育向上。希望多數出席云。

紅茶不振

龍潭庄昨年度出產紅茶數十萬斤。茶山活氣橫溢。聞本年春茶。因爲再製所。茶業者間不敢製造紅茶。以致不振云。

大甲

水泳開場

大甲郡大甲街水源地水泳場。自六月一日起開場。

乘合運轉

大甲街大甲日南間。自海岸線開通後。交通漸便。奈本線之發着列車回數。有減少之感。當地庄民。早望乘合自動車實現。時有日南企業合會社共榮自動車會社。及民間有力者數名。向當局請願。至去月二十八日。共榮自動車會社。始接到許可狀。卽于月二日開始運轉。賃錢日南大甲間金十錢。大甲頂店間金五錢。往來便之云。

斗六

慰勞店員

斗六商工會。定來六月五日午後一時。店主店員三百餘名集合於世界座。擧開店員慰安會。會之順序。先觀劇及餘興。後開宴。現由斯會長等準備中云。

書道研究

斗六街有志細田落作。林景新。鄭淮榮。裴季琳。黃慶瑞諸氏爲研究書道發起。欲聘元臺南一中敎諭三輪杉根氏爲講師。定來三日。在斗六信用組合樓上。擧開書道講習會。每週月曜午後七時半開講。現由發起人等。極力募集會員。

嘉義

分室新建

嘉義郡警察課民雄分室廳舍。乃繼承舊嘉義廳民雄支廳舍者。全部木造建築以來。已三十二星霜。現時頹壞變成危險家屋。決定新築宏壯廳舍。於是位置。由管內各種會社寄集一萬餘圓。管內人民二萬圓。計三萬餘圓之寄附金爲工費。因嘉義地方爲地震帶。欲建築十家木造。以防地震。又且考慮將來之郡警分室建築可盡。以警察署廳舍者。近將三日餘年建物附之入札。不久興工。按今秋十月中旬竣工云。

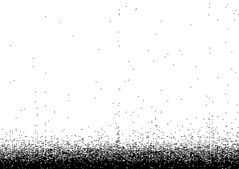
養豚講話

嘉義郡畜產組合。月四日起十四日間。在新港庄大潭部落公共會集會所。開養豚講話會。講師者由郡畜產係々木、湯、張、蔡、池各技手。聽講者爲各部落[illegible]云。

詩壇

寄懷袖海先生
王少濤

潤兄歸自東。細說先生狀。
文章老彌佳。吟身亦益壯。
結廬隔市囂。蕭然掩竹關。
嘯歌閑抱膝。寄傲花青山。
人處白雲中。神游白雲外。
方寸抱天眞。吐納乾坤大。
地偏客罕來。綠鋪滿徑苔。
與花依細草。日對笑顏開。
珍藏富書畫。淸賞自高挂。
時爲筆墨忙。欲償詩文債。
昔居古亭村。問字上衙門。
匆々經廿載。留別句猶存。
落月滿屋梁。悵然思風采。
紅稀綠暗時。緘詩寄東海。



櫻花夢（下卷）
第八十七回
談國姓魚緣起

一行俯仰乾坤。縱談今古。感慨興亡。絕海波濤。英雄淘盡。其有孟德臨江。橫槊賦詩。所謂是從中來。不可斷絕者。直游至日暮風涼。海門一角。漁舟欸乃。帆影隨雲影以飛。歌聲雜潮聲而起。乃相率棄艇托東而歸。[illegible]人多滌海遊。祖香曰。此地隣介。概多塭沼。如鹽埕四者。皆是畜魚之塭中。太平曰。何以謂之塭。文成代答曰。本[illegible]在安平港。沿道兩側大洲小渚。築土爲堤。聚而低築其上。群插縱網其中。是卽塭也。忠漢曰。是乃一種之池沼也。祖香曰。內地人稱爲養魚池。山輝曰。塭字乃俗字。字典不載。謂此南部地方。養魚爲業者。乃一種專門。其因此起家者。多有其人。祖香曰。普通塭畜之魚。乃是國姓魚。通稱虱目魚者。[illegible]周曰。稱國姓魚者。當鄭延平據有全島。開發產業。敎人放飼者乎。祖香曰。家父前年曾游菲律賓群島。寓馬尼剌埠約半個年。謂該埠之漁民族。亦稱虱目魚爲國姓名。皆如臺之例。畜諸塭中。其肥大倍於臺產者。魚苗謂是自菲島逐流。至南部沿岸。漁人撈取魚兒。賣與塭業者。大概畜經一年。則網而登市。未嘗見有魚卵。謂魚母棲於菲島大海中。不易網取。據家父所見。魚苗臨菲島所出產。而飼法則菲島所發明。始於延平王時代。漢民族之居菲者。諒泉漳二府之人較多。居菲島者。亦淺臺考察。因效法而行諸菲島者。仍其名爲國姓魚。不然則是克塽歸淸。延平舊部。逃竄菲島。以飼法敎人爲之者。山輝曰。合會之言有理。文成曰。臺北亦是見此魚者。因有是名者乎。名臺之鯤魚。南部國姓魚。又別名皇帝魚。或者與皇帝豆同是延平王時發見。延平乃當時之臺灣皇帝。故不別命名。直以皇帝二字尊之者。纂周曰。今夕之言。可云臺灣物名考。

（未完）